

平成 21 年 度

佐賀大学大学院 医学系研究科 学生募集要項

博士課程 医科学専攻

修士課程 医科学専攻

修士課程 看護学専攻



佐賀大学

佐賀大学ホームページ

<http://www.saga-u.ac.jp/>

入試関係ホームページ

<http://www.sao.saga-u.ac.jp/>

医学部ホームページ

<http://www.med.saga-u.ac.jp/>

目 次

アドミッションポリシー	1
社会人学生に対する修学上の配慮	4
博士課程医科学専攻	
Ⅰ 平成21年度学生募集要項（博士課程医科学専攻）	5
Ⅱ 大学院（博士課程医科学専攻）案内	12
修士課程医科学専攻	
Ⅰ 平成21年度学生募集要項（修士課程医科学専攻）	25
Ⅱ 大学院（修士課程医科学専攻）案内	32
修士課程看護学専攻	
Ⅰ 平成21年度学生募集要項（修士課程看護学専攻）	42
Ⅱ 大学院（修士課程看護学専攻）案内	49
共通事項	52
佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内	54
General Application Guide for International Students	57

個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の施行に伴い、入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、入学者選抜に係る業務（統計処理などの付随する業務を含む。）以外に、教育目的等（入学科・授業料免除、（入学料徴収猶予）及び奨学金等を含む。）に利用します。

※ 本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

佐賀大学大学院 医学系研究科のアドミッションポリシー

医学系研究科の【基本理念】

医学・医療の専門分野において、社会の要請に応える研究者及び高度専門職者を育成し、学術研究を遂行することにより、医学・医療の発展と地域包括医療（地域社会及び各種の医療関係者が連携し、一丸となって実践する医療）の向上に寄与することを目指します。

■博士課程医科学専攻

【教育目的】

医学・医療の領域において、自立して独創的研究活動を遂行するのに必要な高度な研究能力と、その基礎となる豊かな学識と優れた技術を有し、教育・研究・医療の各分野で指導的役割を担う人材を育成する。

【教育目標】

1. 高い倫理観と豊かな人間性を育み、医学・医療の諸分野での指導的役割を果たす能力を身に付ける。
2. 幅広い専門的知識・技術を身に付け、研究及び医学・医療の諸分野での実践で発揮する。
3. 自立して研究を行うのに必要な実験デザインなどの研究手法や研究遂行能力、或いは研究能力を備えた高度専門職者としての技量を身に付ける。
4. 幅広い視野を持ち、国内外の研究者或いは専門職者と専門領域を通じた交流ができる。

【教育方針】 目的・目標の達成に向けて、次の方針のもとにカリキュラムを編成しています。

1. 育成する人材像ごとに「基礎医学コース」、「臨床医学コース」、「総合支援医科学コース」に沿って、学生ごとの履修カリキュラムを設計し、それぞれの専門的知識・技術と研究・実践能力ならびに関連分野の教育を行う。
2. 各コースにおいて、自立して研究を行うのに必要な実験デザインなどの研究手法や研究遂行能力を身につけるための実践的教育を必修科目として行う。
3. 医学・生命科学研究者や医療専門職者として必要な倫理観やコミュニケーション能力などの基礎的な素養ならびに各自の専門性を深めるための授業を共通必修選択科目として行う。
4. 国内外の学会・研究会等に積極的に参加させ、幅広い視野と成果を発信する能力を育てる。

【求める学生像】 博士課程医科学専攻では次のような人を求めています。

1. 医学・歯学等の6年生学部卒業者で、医学・医療の分野で、研究者或いは高度専門職業人として社会に貢献したいと考える人
2. 医学系修士課程或いはその他の修士課程修了者で、医学系研究科博士課程と合わせて研究者を志す人
3. 学習と研鑽を努力・持続するための忍耐強さを持つ人
4. 博士課程での教育プログラムを学ぶのに必要な学力・能力を備えた人

■修士課程医科学専攻

【教育目的】

医学部医学科以外の理系・文系4年制大学学部出身の多様なバックグラウンドを持つ学生を受け入れ、医学の基礎及びその応用法を体系的・集中的に修得させることにより、医学、生命科学、ヒューマンケアなど包括医療の諸分野において活躍する多彩な専門家を育成します。

【教育目標】 教育成果として、次のことを達成目標とします。

1. 高い倫理観と豊かな人間性を育み、包括医療の諸分野でリーダーシップを発揮できる。
2. 医学の基礎とともに志す分野の専門的知識・技術を習得し、それを自らが発展させていく能力を身に付ける。
3. 科学的・論理的に思考し、問題解決方法のデザインと研究を遂行する能力を身に付ける。
4. 国内外に対し幅広い視野を持ち、研究・活動等の成果を発信する能力を身に付ける。

【教育方針】 次の方針のもとにカリキュラムを編成しています。

1. 共通必修科目で医学の基礎とともに生命科学倫理を学び、医学・医療の分野に必要な基本的な素養と人間性を育てます。
2. 基礎生命科学系、医療科学系、総合ケア科学系の履修コースにより、それぞれの専門的知識・技術と研究・実践能力の教育を行います。
3. 多彩な専門選択科目により、履修コースに応じた幅広い専門知識を習得させます。
4. 国内外の学会・研究会等に積極的に参加させ、幅広い視野と成果を発信する能力を育てます。

【求める学生像】 修士課程医科学専攻では次のような人を求めています。

1. 医学・医療の分野で、高度専門職業人として社会に貢献したいと考える人
2. 或いは、本修士課程と医学系研究科博士課程とを合わせて研究者を志す人
3. 学習と研鑽を努力・持続するための忍耐強さを持つ人
4. 本専攻の教育課程で学ぶのに必要な学力・能力を備えた人

■修士課程看護学専攻

【教育目的】

高度の専門性を有する看護職者にふさわしい広い視野に立った豊かな学識と優れた技能を有し、国内および国際的に看護学の教育，研究，実践の各分野で指導的役割を果たすことができるような人材を育成します。

【教育目標】 教育成果として，次のことを達成目標とします。

1. 高い倫理観と豊かな人間性を育み，看護学の分野での指導的役割を果たす能力を身に付ける。
2. 幅広い専門的知識・技術を身に付け，看護学の分野での実践で発揮する。
3. 自立して研究を行うのに必要な実験デザインなどの研究手法や研究遂行能力，或いは研究能力を備えた高度専門職者としての技量を身に付ける。
4. 幅広い視野を持ち，国内外の研究者或いは専門職者と専門領域を通じた交流ができる。

【教育方針】 次の方針のもとにカリキュラムを編成しています。

1. 高い倫理観に基づき看護についての問題を包括的にとらえ，柔軟に解決する研究能力を持った看護職者を育成します。
2. 教育，研究，実践を通して，看護の多様な問題に対処できるように自ら研究し解決する習慣を身に付けます。

【求める学生像】 修士課程看護学専攻では次のような人を求めています。

1. 看護学領域の大学卒業者で，看護学の分野で，研究者或いは高度専門職業人として社会に貢献したいと考える人
2. 看護職者として十分な経験や実績を持ち，上記と同等の能力がある人
3. 学習と研鑽を努力・持続するための忍耐強さを持つ人
4. 修士課程での教育プログラムを学ぶのに必要な学力・能力を備えた人

社会人学生に対する修学上の配慮

教育方法の特例

大学院設置基準第14条では、「教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されており、社会人等の修学についての配慮が明記されています。

本研究科〔博士課程医科学専攻及び修士課程医科学専攻・看護学専攻〕では、本大学院での修学を希望する社会人等に対して、同条に定める「教育方法の特例」による教育を実施しています。

長期履修制度

大学院設置基準第15条では、「学生が、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。」旨規定されており、社会人等の修学についての配慮が明記されています。

本研究科〔博士課程医科学専攻及び修士課程医科学専攻・看護学専攻〕では、本大学院での修学を希望する社会人等に対して、同条に定める「長期履修制度」による教育を実施しています。

長期履修の期間は、修士課程は4年、博士課程は8年を超えない期間で設定し、授業料は、標準修業年限分（修士課程2年、博士課程4年）の授業料総額を、長期履修の期間（年数）で分割した額を毎年納入することになります。

I 平成21年度学生募集要項(博士課程医科学専攻)

I 入 試 日 程

区 分	1 次 募 集	2 次 募 集
出 願 期 間	平成20年8月4日(月) 平成20年8月8日(金)	平成21年1月5日(月) 平成21年1月13日(火)
試 験 日	平成20年9月3日(水)	平成21年2月13日(金)
合 格 発 表	平成20年9月22日(月)	平成21年3月6日(金)

※1次募集で募集人員に満たない場合、2次募集を実施します。

II 募 集 人 員

医科学専攻 30名(「社会人特別選抜」を含みます。)

(備考) 本研究科博士課程医科学専攻では、修学を希望する社会人に対して、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用した「夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法」による教育(21ページ参照)を実施しています。

なお、この場合の社会人とは、官公庁、教育機関、病院、企業等の現業に従事し、入学後もその身分を有する者をいいます。

III 履 修 コ ー ス

医学・医療の専門分野において、社会の要請に応えうる多様な研究者および高度専門職者を育成するために、基礎医学コース、臨床医学コース、総合支援医科学コースの3つのコースが設定されています。入学後、指導教員の指導の下に、それぞれの目的と専門性に応じて履修コースを選択します。

IV 出 願 資 格

1 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学(医学、歯学又は獣医学を履修する課程)を卒業した者及び平成21年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において学校教育における18年の課程を修了した者及び平成21年3月修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者及び平成21年3月修了見込みの者
- (4) 旧大学令による大学の医学又は歯学の学部を卒業した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 防衛医科大学校を卒業した者

- (7) 修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者で、大学の医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると、本学大学院が認めた者
- (8) 大学（医学、歯学又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると、本学大学院が認めた者
- (9) 大学（医学、歯学又は獣医学を履修する課程に限る。）に4年以上在学し、又は外国において学校教育における16年の課程（医学、歯学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学大学院が認めた者
- (10) 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると、本学大学院が認めた者で、24歳に達したもの

2 社会人特別選抜

上記1の出願資格のいずれかに該当する者で、官公庁、教育機関、病院、企業等の現業に従事し、入学後もその身分を有する者としてします。

V 出願資格認定

出願資格(8)、(9)又は(10)により出願しようとする者については、事前に出願資格の審査を受け、出願資格を有することが認定された者のみ出願することができますので、関係書類を次により提出してください。

なお、1次募集における本研究科の審査で出願資格を認定された者は、2次募集に出願する場合、あらためて出願資格の認定を申請する必要はありません。

(注) 外国の学校の卒業者は資格審査を要する場合がありますので、事前に佐賀大学医学部学生サービス課入試担当（0952—34—3130）に問い合わせてください。

1 出願資格(8)により出願しようとする場合

(1) 提出書類（*の印を付しているものは本学所定の用紙を使用してください。）

提出書類等	摘 要
* 入学資格個別審査願 (様式院6)	
出身学校成績証明書	出身学校の長が証明したもの
卒業(修了)証明書	出身学校の長が証明したもの
研究(在職)期間証明書	研究(在職)時の職名、期間を証明することのできる書類(様式自由)
* 志願理由書 (様式院3)	希望する研究の概要(在職中の者は実務の概要を含む。)など 志願の理由を1,000字程度でまとめたもの
* 業績報告書 (様式院4)	研究発表、論文、著書等があれば、題名、掲載誌名、巻・号、 発表月日などと共に業績内容を示すもの(論文等の別刷または コピーを添付してください)

2 出願資格(9)により出願しようとする場合

(1) 提出書類（*の印を付しているものは本学所定の用紙を使用してください。）

提出書類等	摘 要
* 入学資格個別審査願 (様式院 6)	
出身学校成績証明書	出身学校の長が証明したもの
在学証明書（在学年次が 明記されているもの）	出身学校の長が証明したもの
* 志願理由書 (様式院 3)	希望する研究の概要（在職中の者は実務の概要を含む。）など 志願の理由を1,000字程度でまとめたもの

3 出願資格(10)により出願しようとする場合

(1) 提出書類（*の印を付しているものは本学所定の用紙を使用してください。）

提出書類等	摘 要
* 入学資格個別審査願 (様式院 6)	
出身学校成績証明書	出身学校の長が証明したもの
卒業(修了)証明書	出身学校の長が証明したもの
* 志願理由書 (様式院 3)	希望する研究の概要（在職中の者は実務の概要を含む。）など 志願の理由を1,000字程度でまとめたもの
* 業績報告書 (様式院 4)	研究発表, 論文, 著書等があれば, 題名, 掲載誌名, 巻・号, 発表月日などと共に業績内容を示すもの（論文等の別刷または コピーを添付してください）

4 提出期限

1 次募集 平成20年 7 月22日（火） 17時必着

2 次募集 平成20年11月28日（金） 17時必着

5 提出方法 次のいずれかの方法により提出してください。

(1) 郵送の場合……………「速達簡易書留」郵便で, 封筒の表に「入学資格個別審査願書在中」と朱書きし, 郵送してください。なお, 配達に要する日時等を考慮して, 早めに郵送してください。

(2) 持参の場合……………佐賀大学医学部学生サービス課入試担当へ持参してください。

6 提 出 先 佐賀大学医学部学生サービス課入試担当

〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島 5 丁目 1 番 1 号

7 認定の結果

1 次募集 平成20年 8 月 1 日（金）
2 次募集 平成20年12月19日（金）

までに, 本人に通知します。

VI 出 願 手 続

1 指導教員との事前相談

出願の手続きをする前に、研究指導を希望する教員と以下の方法で連絡を取り、あらかじめ入学後の教育・研究内容などについて相談を行い、志望する指導教員を決めてください。

(1) 電話又は電子メールによる直接連絡

本冊子13～18ページ、指導教員表の電話番号又はメールアドレスに直接連絡してください。

2 出 願 期 間

1 次募集 平成20年8月4日（月）～平成20年8月8日（金）17時必着

2 次募集 平成21年1月5日（月）～平成21年1月13日（火）17時必着

※ 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。

土・日曜日、祝日は受付を行いません。

3 出 願 方 法

出願書類は、次のいずれかの方法により提出してください。

(1) 郵送の場合……「速達書留」郵便とし本学所定の封筒で送付してください。

なお、配達に要する日時等を考慮して、早めに郵送してください。

(2) 持参の場合……佐賀大学アドミッションセンターへ持参してください。

4 出願書類等の提出先

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学アドミッションセンター

5 出願書類等（*の印を付しているものは本学所定の用紙を使用してください。）

出 願 書 類 等	提 出 部 数	摘 要	一般選 抜を受 けよう とする 者	社会人 特別選 抜を受 けよう とする 者
入 学 検 定 料 30,000円		* 検定料振込依頼書（様式院8-1）を使用し、銀行窓口において検定料を納付してください。ただし、本学において平成21年3月に修士・博士前期課程を修了見込みの者は不要です。（注）1	○	○
* 検定料振込証明台紙 （様式院8-2）	1 通	上記検定料を納付後、銀行窓口において受領する「C票 検定料払込証明書」を台紙に貼り付けてください。	○	○
* 入 学 願 書 （様式院1-1）	1 通	写真は、出願前3か月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向、縦3.5cm×横3cmのものを所定の欄に貼付してください。	○	○
* 受験票・写真票 （様式院1-2, 1-3）	1 部		○	○
* 履 歴 書 （様式院1-4）	1 通	所要事項を記入してください。	○	○
成 績 証 明 書	1 通	出身大学（学部）長が作成し、厳封したもの。なお、大学院修士課程修了者は、出身大学の成績証明書のほか当該研究科の長が作成し、厳封した成績証明書を添付すること。	○	○
* 志 願 理 由 書 （様式院3）	1 部	希望する研究の概要（在職中の者は実務の概要を含む。）など志願の理由を1,000字程度でまとめたもの。	○	○

*返信用封筒 (受験票)	1通	本学所定の封筒に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入のうえ、350円切手(速達)を貼付してください。	○	○
卒業(修了)証明書等	1通	卒業(修了)証明書又は見込証明書	○	○
外国人登録原票 記載事項証明書	1通	本邦に在留している外国人で入学を志望する者は、市区町村長が発行する「外国人登録原票記載事項証明書」を提出してください。	○	
在職期間証明書	1通	在職時の職名、勤務期間を証明することのできる書類(様式自由)		○
*業績報告書 (様式院4)	1部	研究発表、論文、著書等があれば、題名、掲載誌名、巻・号、発表年月などと共に業績内容を示すもの(論文等の別刷またはコピーを添付してください)		○
*出願承認書 (様式院5)	1通	○現に大学院に在学中の者(修了見込みの者を除く) 大学院研究科長等の出願承認書を提出してください。 ○官公庁、教育機関、病院、企業等に在職中の者 所属長の出願承認書を提出してください。	○	○
*住所届 (様式院9)	1通	必要事項を自筆で記入してください。	○	○

(注) 1 検定料が払い込まれていない場合又は、検定料が払い込まれていても払い込み済の「C票 検定料払込証明書」が検定料払込証明台紙に貼り付けられていない場合は出願を受理しません。
出願書類を受理した後は、払い込み済の検定料は返還いたしません。
次の場合は検定料の返還請求ができます。
① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
なお、返還請求の方法等については、アドミッションセンター(0952-28-8177)まで、お問い合わせください。

6 出願上の留意事項

- (1) 入学願書の記入漏れ等がないように十分留意してください。
- (2) 一度受理した出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- (3) 出願期間後に到着したもの及び出願書類等に不備のあるものは受理できません。
- (4) 出願書類等は一括して取りそろえ、出願者が直接出願してください。
- (5) 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学を取り消すことがあります。

VII 入学者選抜方法

1 選抜の方法

- (1) 一般選抜 筆記試験(英語)、面接及び口頭試問並びに成績証明書等の結果を総合して判定します。
- (2) 社会人特別選抜 筆記試験(英語)、面接及び口頭試問並びに成績証明書等の結果を、社会人特別選抜の観点で総合的に判定します。

2 試験の日時等

期 日	実 施 項 目	実 施 時 間	備 考
1次募集 平成20年 9月3日(水)	筆記試験（英語）	10：30～12：00	「辞書」の持込み可とし、「電子辞書」は不可とします。
2次募集 平成21年 2月13日(金)	面接及び口頭試問	13：30～	主として志望する分野について行います。

(注) 受験者は、10時10分までに佐賀大学医学部（鍋島キャンパス）に集合してください。

VIII 合格者の発表及び通知

1 合格発表

日時 1次募集 平成20年9月22日（月）14時

2次募集 平成21年3月6日（金）14時

場所 佐賀大学（本庄キャンパス）「学生センター」前

2 合格通知

合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。

電話による可否の問い合わせには応じません。

IX 入 学 手 続

1 入学手続期間

1次募集 平成20年10月21日（火）～平成20年10月24日（金）17時必着

2次募集 平成21年3月24日（火）～平成21年3月27日（金）17時必着

※ 1次募集・2次募集ともに期間内に必着するように発送してください。

期間内に入学手続をしなかった者は、入学辞退者とします。

2 入学手続の内容

前記1の入学手続期間内において、次に掲げる関係書類の提出及び入学料等の納入を完了してください。

(1) 入学手続関係書類

○誓約書及び学生カードなど本学の指定する書類（合格者に対し、合格通知書と同時に郵送します）

○外国人登録原票記載事項証明書 1通

出願時に外国人登録原票記載事項証明書を提出済の者は、提出を要しません。

ただし、出願時に旅券の写を提出した者は、入学手続完了後、在留資格の変更手続等を行い、外国人登録原票記載事項証明書を速やかに提出してください。

(2) 入学料・授業料

入学料：282,000円（入学手続時）

授業料：267,900円（前期・後期）〔年額535,800円〕（平成21年度の適用額）

※ 卒業（退職）証明書等 1 通

平成21年3月に大学等を卒業（修了）見込みで受験した者は，卒業（修了）後速やかに証明書を提出してください。

また，出願承認書で受験した者は，退学又は退職証明書もしくは修学承諾書（様式自由）を提出してください。

（留意事項）

- ① 入学料及び授業料額は，入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には改定時から新たな納付金額が適用されます。

なお，合格通知書送付の際，納入方法を含め，改めてお知らせします。

- ② 授業料の納付期間は，平成21年4月10日（金）から4月30日（木）です。

- ③ 納付した入学料は，いかなる理由があっても返還しません。

- ④ 入学手続完了者で，上記②の期間前に授業料を納付し，平成21年3月31日（火）までに入学を辞退した場合には，納付した者の申し出により，納付済の授業料相当額を返還します。

- ⑤ 入学料の免除及び徴収猶予並びに授業料の免除については，合格者に送付する関係書類を熟読の上，学生生活課に申し出てください。

※ 本冊子52ページ「共通事項」を参考にしてください。

X そ の 他

- 1 入学試験等に関する照会は，郵便により，80円切手を貼付した返信用封筒を同封するか又は往復はがきで行ってください。

照会先

佐賀大学アドミッションセンター

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 電話 0952-28-8178

- 2 可否についての問い合わせには応じません。
3 受験者に対する宿泊の斡旋は行いません。

II 大学院(博士課程医科学専攻)案内

1 博士課程医科学専攻の目的

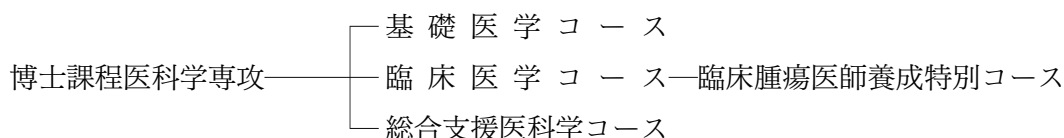
医学の領域において、自立して独創的研究活動を遂行するのに必要な高度な研究能力と、その基礎となる豊かな学識と優れた技術を有し、教育・研究・診療の各分野で指導的役割を担う人材を育成します。

2 学 位

博士課程医科学専攻で取得できる学位は博士（医学）です。

3 教育・研究指導

博士課程医科学専攻は、医学・医療の専門分野において社会の要請に応えうる多様な研究者および高度専門職者を育成するため、その育成する人材像に応じて、「基礎医学コース」、「臨床医学コース」、「総合支援医科学コース」の3つのカリキュラムコースで教育課程が編成されています。



〔基礎医学コース〕

医学・生命科学等の領域で自立した研究者・指導者として活躍する人材を育成することを目的とし、そのための幅広い専門的知識と研究に必要な技術や実験デザインなどの研究遂行能力を修得します。

〔臨床医学コース〕

研究マインドを備えた臨床医学等の高度専門職者を育成することを目的とし、病態学、診断・治療学、手術技法、統計解析など臨床医学や社会医学の高度な専門的知識・技能・態度並びに主として患者を対象とする臨床研究の遂行能力を修得します。

このコースは、臨床専門分野ごとのサブコースで構成されていますが、さらに〔臨床腫瘍医師養成特別コース〕を履修することより、日本臨床腫瘍学会の認定資格「がん薬物療法専門医」の取得を目指すことができます（22頁参照）。

〔総合支援医科学コース〕

総合的ケアなど医療関連の研究・実践能力を備え、包括医療のなかで活躍する高度専門職者を育成することを目的とし、そのための幅広い専門的知識と技術並びに研究・実践デザインなどの研究・実践遂行能力を修得します。

各コースでは、各自の目的に応じた個別の履修計画を策定し、専門的知識、自立して研究を行うのに必要な研究手法や研究遂行能力、医学・生命科学研究者や医療専門職者として必要な倫理観やコミュニケーション能力などの基礎的な素養並びに各自の専門性を深めるための科目を選択履修します。

また、国内外の学会・研究会等に積極的に参加し、幅広い視野と成果を発信する能力を育てます。

研究指導では、新しい事柄の発見や問題解決を行うための能力と技術を身に付けるため、研究実習や医療現場での実習を重視し、指導教員による個別研究指導を基本方針としています。個別の研究指導は、学生ごとに1人の主指導教員を置き、主指導教員とその研究グループのスタッフが協力して指導する体制になっており、入学時に指導教員と学生とが相談のうえ個別の履修計画及び研究計画を策定し、学生のニーズに即した研究指導を行っています。

4 指導教員及びその主たる研究分野

出願の手続きをする前に、入学後の教育・研究内容などについて、研究指導を希望する教員と相談を行うことになっておりますが、下表及び医学部ホームページの研究グループ紹介(<http://www.med.saga-u.ac.jp/resgroup-jp.2008/>)を参考に、志望する指導教員を決めてください。

電話番号は、ダイヤルイン化されていますので、0952-34-の後に番号を続ければ直通電話番号となります。

注) ☆印が付されている番号は、0952-28-の後に番号を続けてください。

指導教員	番号	メールアドレス	所 属	主たる研究分野
副島 英伸	2260	soejimah@cc.saga-u.ac.jp	分子生命科学	○エピジェネティクス一般 ○がんのエピジェネティクス ○ゲノム刷り込み ○分子遺伝学 ○転写メカニズム ○クロマチン生化学
出原 賢治	2261	kizuhara@cc.saga-u.ac.jp	分子生命科学	○サイトカインの情報伝達機構 ○アレルギー性疾患の発症機序 ○慢性炎症の発症機序 ○遺伝性疾患の診断と解析
城 圭一郎	2262	joh@cc.saga-u.ac.jp	分子生命科学	○遺伝子発現の制御機構 ○エピジェネティクス ○ゲノム刷り込み (ゲノムインプリンティング)
吉田 裕樹	2290	yoshidah@cc.saga-u.ac.jp	分子生命科学	○遺伝子改変マウスの作成 ○サイトカインとリンパ球分化 ○アポトーシス制御機構 ○感染と防御免疫
高崎 洋三	2191	takasaky@cc.saga-u.ac.jp	分子生命科学	○タンパク質の構造と機能の研究 ○PCRを用いたタンパク質変異体の調製 ○制限酵素とDNAとの相互作用 ○大腸菌における外来遺伝子の発現の調節

指導教員	番号	メールアドレス	所 属	主たる研究分野
安藤 祥司	2192	andohs@cc.saga-u.ac.jp	分子生命科学	○中間径フィラメント蛋白質の構造とリン酸化による機能制御 ○中間径フィラメント結合蛋白質の構造と機能 ○多細胞生物由来抗菌ペプチドの構造と機能
池田 義孝	2190	yikeda@cc.saga-u.ac.jp	分子生命科学	○酵素化学・触媒機構 ○酵素の活性制御機構 ○アスパラギン結合型糖鎖を中心とした糖鎖生物学
木本 雅夫	2255	kimoto@cc.saga-u.ac.jp	分子生命科学	○感染防御機構 ○免疫細胞機構 ○組織適合遺伝子
埴原 恒彦	2220	hanihara@cc.saga-u.ac.jp	生体構造機能学	○形質人類学（骨，歯牙形態学） ○数量分類学
増子 貞彦	2221	masuko@cc.saga-u.ac.jp	生体構造機能学	○神経解剖学 ○神経細胞生物学 ○組織・細胞の微細形態学
額原 嗣尚 [*]	2270	eharat@cc.saga-u.ac.jp	生体構造機能学	○心筋の膜電流解析 ○筋細胞膜のイオンチャネルの研究 ○心筋細胞のイオンポンプ機構 ○心筋の興奮収縮連関
熊本 栄一	2273	kumamote@cc.saga-u.ac.jp	生体構造機能学	○痛み情報伝達の制御機構 ○中枢神経系におけるシナプス伝達 ○神経伝達物質受容体 ○末梢神経における活動電位の伝導
徳永 藏	2230	tokunao@cc.saga-u.ac.jp	病因病態科学	○人体病理学 ○心・血管及び消化器病理学 ○細胞診断学 ○バーチャルスライド遠隔病理診断
戸田 修二	2233	todas@cc.saga-u.ac.jp	病因病態科学	○内分泌病理学 ○腫瘍病理学 ○再生医学 ○気相・液相界面の生物学 ○脂肪細胞と肥満の細胞生物学 ○ Radiation bystander effect ○培養システム開発
宮本比呂志	2245	miyamoth@cc.saga-u.ac.jp	病因病態科学	○細菌学 ○院内感染 ○レジオネラ感染症の宿主・寄生体関係
久木田明子	2246	kukita@cc.saga-u.ac.jp	病因病態科学	○免疫系サイトカインと骨代謝 ○破骨細胞の分化及び活性化の制御機構 ○骨代謝・免疫制御因子の分子細胞生物学 ○細胞増殖を調節する転写制御因子
田中恵太郎	2280	tanakake@cc.saga-u.ac.jp	社会医学	○環境発癌に関する疫学 ○発癌リスクの個体差に関する分子疫学 ○生活習慣病の予防医学 ○生物統計学的アプローチ
市場 正良	2283	ichiba@cc.saga-u.ac.jp	社会医学	○環境医学－化学物質の生体影響 ○環境医学－シックハウス ○産業医学

指導教員	番号	メールアドレス	所 属	主たる研究分野
堀川 悦夫	2141	ethori@cc.saga-u.ac.jp	福祉健康科学部門	○脳機能に及ぼす加齢の影響 ○認知症、高次脳機能障害 ○高齢者の転倒・交通事故などモビリティの障害 ○糖尿病患者などの運動習慣形成とその評価法 ○介護負担とストレス対処行動
酒見 隆信	2507	sakemit@cc.saga-u.ac.jp	地域包括医療教育部 門	○腎疾患の診断と治療 ○腎疾患の進展機序 ○医学教育
竹生 政資	2202	takefu@cc.saga-u.ac.jp	医療連携システム部 門	○生体情報計測システム ○カオス・フラクタルの手法による生体情報解析 ○生体情報の臨床精神医学的研究への応用
高崎 光浩	3338	takasaki@cc.saga-u.ac.jp	医 療 情 報 部	○地域医療連携とICT (Information Communication Technology) ○データベース管理システムとデータマイニング ○教育システム (特に e-Learning) とその評価, ID (Instructional Design)
佐藤 英俊	2194	satohh2@cc.saga-u.ac.jp	地域包括緩和ケア科	○緩和ケア ○がん性疼痛 ○認知行動療法 ○東洋医学
長澤 浩平	2350	nagasak@cc.saga-u.ac.jp	内 科 学	○膠原病の成因, 診断と治療 ○感染免疫 ○実験関節炎の研究
野出 孝一	2354	node@cc.saga-u.ac.jp	内 科 学	○循環器病学 ○高血圧・高脂血症 ○血管医学 ○臨床薬理学
藤本 一眞	2351	fujimotk@cc.saga-u.ac.jp	内 科 学	○食道・胃・大腸疾患の診断・治療 ○消化管機能と疾患の相関 ○消化器癌の発生機序
成澤 寛	2352	narisawa@cc.saga-u.ac.jp	内 科 学	○皮膚付属器の形態学 ○皮膚の感覚生理 ○毛組織の生物学
林 真一郎	2356	hayashs@cc.saga-u.ac.jp	内 科 学	○間質系肺病変の病態と診断・治療 ○気管支喘息におけるリモデリング機序に関する研究 ○肺癌の臨床管理
末岡栄三朗	2353	sueokae@cc.saga-u.ac.jp	内 科 学	○臨床腫瘍学 ○血液腫瘍学 ○造血幹細胞移植 ○腫瘍分子生物学
久富 昭孝	2443	hisatomi@cc.saga-u.ac.jp	内 科 学	○内分泌・代謝学 ○糖尿病学 ○インスリン作用障害の診断・治療・病態解析

指導教員	番号	メールアドレス	所 属	主たる研究分野
岩切 龍一	2374	iwakiri@cc.saga-u.ac.jp	内 科 学	○消化器内視鏡診断・治療 ○食道疾患診断・治療 ○炎症性腸疾患診断・治療 ○食餌性脂質の大腸癌発生への関与メカニズム
尾崎 岩太	3215	ozaki@cc.saga-u.ac.jp	保健管理センター	○肝線維化の進展・肝癌の発生過程の分子生物学的解析 ○C型肝炎の病態に関する研究 ○生活習慣病における肝病態
宮崎 耕治	2325	miyazak2@cc.saga-u.ac.jp	一 般 ・ 消化器外科学	○肝・胆・膵領域癌の診断と治療 ○肝・胆道癌の発癌と進展機序 ○消化器癌の個別化治療
佛淵 孝夫	2326	hotoket@cc.saga-u.ac.jp	整 形 外 科 学	○関節外科学 ○人工関節 ○バイオメカニクス ○バイオマテリアル
松島 俊夫	2330	matsuto@cc.saga-u.ac.jp	脳 神 経 外 科 学	○微小外科解剖 ○もやもや病の臨床と病因 ○神経血管圧迫症候群，特に高血圧症の原因として
魚住 二郎	2333	uozumi@cc.saga-u.ac.jp	泌 尿 器 外 科 学	○薬剤性腎障害 ○尿路・生殖器悪性腫瘍 ○尿路変更・尿路再建 ○泌尿器内視鏡手術
岡崎 幸生	2334	okazaki@cc.saga-u.ac.jp	胸 部 ・ 心臓血管外科学	○心拍動下冠動脈バイパス術の安全性向上に関する研究 ○僧帽弁動態の形態学的解析（心臓内視鏡） ○大動脈基部機能の形態学的解析 ○心筋虚血再灌流障害 ○人工心肺・補助循環
上村 哲司	3680	uemurat@cc.saga-u.ac.jp	形成外科	○形成外科学 ○微小血管外科学 ○頭蓋顔面外科学 ○糖尿病足病変等の足病外科学 ○創傷治療（治癒）学
山田 茂人	2300	yamadash@cc.saga-u.ac.jp	精神医学	○内因性精神病の病態研究 ○精神薬理学的研究 ○認知症に関する疫学的研究
濱崎 雄平	2310	hamasaki@cc.saga-u.ac.jp	小児科学	○アレルギー疾患の発症機序 ○アラキドン酸代謝と疾患 ○川崎病の病態 ○小児呼吸器病の診断と治療
岩坂 剛	2315	iwasaka@cc.saga-u.ac.jp	産科婦人科 学	○子宮頸癌発癌機構 ○婦人科腫瘍学 ○細胞診断学 ○婦人科癌化学療法
沖波 聡	2380	okinami@cc.saga-u.ac.jp	眼 科 学	○ぶどう膜炎の診断と治療 ○緑内障の診断と治療 ○網膜・硝子体疾患の診断と治療

指導教員	番号	メールアドレス	所 属	主たる研究分野
井之口 昭	2375	inoaki@cc.saga-u.ac.jp	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	○頭頸部腫瘍の診断と治療 ○味覚・嗅覚障害の診断と治療
工藤 祥	2305	kudo@cc.saga-u.ac.jp	放 射 線 医 学	○放射線診断学 ○画像ガイド下の疾患治療 ○放射線管理学
中島 幹夫	2324	mikio@cc.saga-u.ac.jp	麻 酔 ・ 蘇 生 学	○麻酔・蘇生学, 集中治療医学, 救急医学 ○虚血性心疾患の病態 ○Vibrio vulnificus感染症の病態と治療
後藤 昌昭	2329	gotohm@cc.saga-u.ac.jp	歯科口腔外科学	○顎顔面形態の3次元解析 ○人工歯根の基礎的, 臨床的研究 ○顎顔面欠損の機能的, 形態的回復
青木 洋介	3242	aoki3@cc.saga-u.ac.jp	臨床検査医学	○感染症の病態, 診断と治療 ○院内感染と分子疫学 ○臨床疫学
瀧 健治	3160	taki@cc.saga-u.ac.jp	救急医学	○重症患者の病態生理と治療 ○炭酸ガスの呼吸生理機構 ○炭酸脱水酵素の生体調節機序 ○急性疾患の診断・検査・治療
小泉 俊三	3239	koizums@cc.saga-u.ac.jp	総 合 診 療 部	○臨床疫学とプライマリケア臨床研究方法論 ○臨床倫理学とバイオエシックス (生命倫理学) ○医学教育学 (臨床教育評価論と保健行動科学) ○医療の質改善と医療技術評価論
浅見 豊子	3630	asamit@cc.saga-u.ac.jp	リハビリテーション部	○リハビリテーション的アプローチの臨床研究 ○義肢装具分野における開発と応用 ○日常生活動作と QOL の評価・分析
藤戸 博	3161	fujito@cc.saga-u.ac.jp	薬 剤 部	○薬物体内動態学 ○医薬品の高感度測定法 ○臨床漢方治療学
奥村 徹	2417	xj2t-okmr@asahi-net.or.jp	危機管理医学	○NBC テロ対応 ○臨床中毒学 ○航空医療搬送 ○医療安全 ○感染制御学
北嶋 修司	2431	kitajims@cc.saga-u.ac.jp	総合分析実験センター	○実験動物学 ○発生工学
寺東 宏明	2413	terato@cc.saga-u.ac.jp	総合分析実験センター	○DNA 損傷の生物効果 ○DNA 修復機構 ○放射線生物影響 ○環境変異原の生物影響
大田 明英	2541	ohtaa1@cc.saga-u.ac.jp	成人・老年看護学	○熱性疾患とくに不明熱の臨床研究 ○免疫異常に伴う線維化の機序 ○難病患者のストレス不応と神経・内分泌・免疫系 ○難病患者の QOL
井上 範江	2532	inouen@cc.saga-u.ac.jp	看護基礎科学	○看護ケア技術の生理・心理学的影響 ○看護の倫理 ○看護の教育的機能

指導教員	番号	メールアドレス	所 属	主たる研究分野
河野 史	2531	kawanoh@cc.saga-u.ac.jp	看護基礎 科 学	○神経機能形態学 ○組織・細胞の微細形態学 ○神経回路の研究
新地 浩一	2564	shinchik@cc.saga-u.ac.jp	地域・国 際保健看 護 学	○国際緊急援助活動に関する研究 ○災害医療に関する研究 ○職場におけるメンタルヘルスに関する研究（精神保健） ○慢性疾患の疫学
佐藤 武	☆ 8180	satot@cc.saga-u.ac.jp	保健管理 センター	○プライマリ・ケアにおける精神医学 ○コンサルテーション・リエゾン精神医学 ○精神障害の臨床疫学 ○医学教育における評価システム ○学生における心理相談および産業メンタル・ヘルス
池田 行伸	☆ 8243	ikeday@cc.saga-u.ac.jp	文化教育 学 部	○環境と脳神経の発達 ○行動療法の理論と臨床 ○軽度高次脳機能障害児の教育
木村 靖夫	☆ 8363	yasuok@cc.saga-u.ac.jp	文化教育 学 部	○運動処方 ○トレーニング ○健康科学 ○高齢者（抗加齢） ○運動／スポーツ生理学
北川 慶子	☆ 8324	kitagake@cc.saga-u.ac.jp	文化教育 学 部	○高齢期と社会保障制度 ○アジア比較健康福祉論 ○葬送社会学 ○ソーシャルワークと医療・看護・介護
水沼 俊美	☆ 8321	mizunut@cc.saga-u.ac.jp	文化教育 学 部	○栄養学 ○食環境
久野 建夫	☆ 8278	kuno@cc.saga-u.ac.jp	文化教育 学 部	○長期慢性疾患の教育的ニーズに関する研究 ○教育的ニーズに対する個別支援プログラムの策定と実施
小西 史子	☆ 8380	konishi@cc.saga-u.ac.jp	文化教育 学 部	○健康教育学 ○食物教育学 ○調理学

注）※印が付されている指導教員は平成21年3月定年退職予定

5 授 業 科 目

区 分		授 業 科 目	授業を行う 年 次	単 位 数			備 考
				講義	演習	実習	
コ ー ス 必 修 科 目	基礎 医学 コース	基礎医学研究法 基礎医学研究実習	1～3 1～3	2		12	いずれか1つの コース区分14単 位を修得するこ と。
	臨床 医学 コース	臨床医学研究法 臨床医学研究実習	1～3 1～3	2		12	
	総合 支援 医科学 コース	総合支援医科学研究法 総合支援医科学研究実習	1～3 1～3	2		12	
共 通 選 択 必 修 科 目 I		生命科学・医療倫理 アカデミックスピーキング アカデミックライティング プレゼンテーション技法 情報リテラシー 患者医師関係論 医療教育 医療法制	1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2	2 2 2 2 2 2 2 2			「生命科学・医療 倫理」を含めて 4単位以上を修 得すること。
共 通 選 択 必 修 科 目 II		分子生物学的実験法 画像処理・解析法 疫学・調査実験法 組織・細胞培養法 組織・細胞観察法 行動実験法 免疫学的実験法 機器分析法 データ処理・解析法 電気生理学の実験法 動物実験法 アイソトープ実験法	1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			コースワークに 沿って4単位以 上を修得するこ と。
共 通 選 択 必 修 科 目 III		解剖・組織学特論 生理学特論 神経科学特論 生命科学特論 分子生物学特論 微生物感染学特論 免疫学特論 病理学特論 薬理学特論 発生・遺伝子工学 基礎腫瘍学 形質人類学 環境医学特論 予防医学特論 法医学特論 臨床病態学特論	1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			コースワークに 沿って4単位以 上を修得するこ と。 共通選択必修科 目I，II，IIIか ら計16単位以上 を修得すること。

区 分	授 業 科 目	授業を行う 年 次	単 位 数			備 考
			講義	演習	実習	
共 通 選 択 必 修 科 目 Ⅲ	臨床診断・治療学	1・2		2		
	臨床局所解剖学	1・2		2		
	人工臓器	1・2		2		
	臨床微生物学	1・2		2		
	法医中毒論	1・2		2		
	臨床腫瘍学	1・2		2		
	臨床遺伝学	1・2		2		
	薬物動態論	1・2		2		
	映像診断学	1・2		2		
	病院経営学	1・2		2		
	老年医学	1・2		2		
	病理診断学	1・2		2		
	地域医療特論	1・2		2		
	健康行動科学	1・2		2		
	社会生活行動支援	1・2		2		
	周産期医学	1・2		2		
	リハビリテーション医学	1・2		2		
	アクセシビリティ特論	1・2		2		
	健康スポーツ学特論	1・2		2		
	食環境・環境栄養学特論	1・2		2		
	国際保健・災害医療	1・2		2		
	医療情報システム論	1・2		2		
	認知神経心理学	1・2		2		
	看護援助学特論	1・2		2		
	緩和ケア科学特論	1・2		2		
	医療・介護事故とヒューマンエラー	1・2		2		

6 履 修 方 法

博士課程医科学専攻においては、入学後に、指導教員の助言の下に、各自の希望する進路及び修学目的に適合した履修コースを決め、それに基づいて各自の学習目標や研究テーマ等に即した博士課程4年間の履修計画を立てます。

授業科目は、「必修科目」と「選択必修科目」から構成されています。

[コース必修科目]：各コースの目的に沿って、自立して研究を行うのに必要な研究デザイン等の理論を学ぶ「研究法」と実践的に修練する「研究実習」の2科目14単位からなり、これを必ず履修します。

[共通選択必修科目Ⅰ]：各コースに共通あるいは関連する基礎的素養を涵養するための科目群で、2科目以上を選択履修します。

[共通選択必修科目Ⅱ]：コース及び各自の目的に沿った専門的技術を修得するための科目群で、2科目以上を選択履修します。

[共通選択必修科目Ⅲ]：コース及び各自の目的に沿って専門分野の理解を深め、あるいは幅広い知識を修得するための科目群で、2科目以上を選択履修します。

「必修科目」の2科目・14単位と、「選択必修科目」から、共通選択必修科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（各2科目・4単位、計6科目・12単位）を含めて、共通選択必修科目全体で8科目・16単位、合

計30単位以上を履修し、各自の目的と専門性に応じた研究活動を遂行するのに必要な豊かな学識と優れた技術を修得します。

7 修了の要件

博士課程の修了要件は、大学院に4年以上在学し、上記の授業科目につき30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格するものとします。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとしています。

8 教育方法の特例

大学院設置基準第14条では、「教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されており、社会人等の修学についての配慮が明記されています。

本研究科博士課程医科学専攻では、本大学院での履修を希望する社会人等に対して、同条に定める「教育方法の特例」による教育を実施しています。

「教育方法の特例」を希望する者は、指導教員と相談のうえ、授業及び研究指導を夜間や特定の時間又は時期に受けることができます。

9 長期履修制度

この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（4年）を越えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度です。

(1) 対象者

職業を有する者並びにその他やむを得ない事情のある者を対象とします。

(2) 長期履修の期間

5年以上8年以内とします。

(3) 申請方法

「入学願書（様式院1-1）」の該当欄に必要事項を記入してください。

なお、長期履修に関する申請は、出願手続時のみの受付となりますので手続漏れののないようにしてください。

(4) 結果通知

合格通知書と併せて通知します。

臨床腫瘍医師養成特別コース

1) コースの目標

このコースは、〔臨床医学コース〕の特別コースとして、博士課程の学位とともに日本臨床腫瘍学会の認定資格「がん薬物療法専門医」の取得を目指すもので、資格の取得に必要なカリキュラムを履修し、がん医療に携わる専門医師としての能力を身につけます。また、研究を遂行するのに必要な能力・方法等を各自のテーマに沿った研究の実践を通して学び、自立してがん治療に関する臨床研究を行う素養を身につけます。具体的には、

- ① 臨床腫瘍学会研修認定施設において臨床腫瘍学会所定の研修カリキュラムに従い、2年以上の臨床研究を行う。
- ② 臨床腫瘍学に関連した論文1編、臨床腫瘍学会発表1編を発表する。
- ③ 各科の基本となる学会の認定医・専門医資格を取得する。

2) 授業科目

区 分	授 業 科 目	授業を行う 年 次	単 位 数			備 考
			講義	演習	実習	
臨床腫瘍医師養成特別コース	臨床医学研究法 臨床医学研究実習	1～3 1～3	2		12	14単位を修得すること。
共通選択必修科目Ⅰ	生命科学・医療倫理 アカデミックスピーキング アカデミックライティング プレゼンテーション技法 情報リテラシー 患者医師関係論 医療教育 医療法制	1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2	2 2 2 2 2 2 2 2			「生命科学・医療倫理」を含めて4単位以上を修得すること。
共通選択必修科目Ⅱ	分子生物学的実験法 画像処理・解析法 疫学・調査実験法 組織・細胞培養法 組織・細胞観察法 行動実験法 免疫学的実験法 機器分析法 データ処理・解析法 電気生理学的実験法 動物実験法 アイソトープ実験法	1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			「疫学・調査実験法」を含めて4単位以上を修得すること。

区 分	授 業 科 目	授業を行う 年 次	単 位 数			備 考
			講義	演習	実習	
共 通 選 択 必 修 科 目 Ⅲ	解剖・組織学特論	1・2		2		「基礎腫瘍学」 及び「臨床腫瘍学」を含めて4 単位以上を修得 すること。
	生理学特論	1・2		2		
	神経科学特論	1・2		2		
	生命科学特論	1・2		2		
	分子生物学特論	1・2		2		
	微生物感染学特論	1・2		2		
	免疫学特論	1・2		2		
	病理学特論	1・2		2		
	薬理学特論	1・2		2		
	発生・遺伝子工学	1・2		2		
	基礎腫瘍学	1・2		2		
	形質人類学	1・2		2		
	環境医学特論	1・2		2		
	予防医学特論	1・2		2		
	法医学特論	1・2		2		
	臨床病態学特論	1・2		2		
	臨床診断・治療学	1・2		2		
	臨床局所解剖学	1・2		2		共通選択必修科目Ⅲから計16単位以上 を修得すること。
	人工臓器	1・2		2		
	臨床微生物学	1・2		2		
	法医中毒論	1・2		2		
	臨床腫瘍学	1・2		2		
	臨床遺伝学	1・2		2		
	薬物動態論	1・2		2		
	映像診断学	1・2		2		
	病院経営学	1・2		2		
	老年医学	1・2		2		
	病理診断学	1・2		2		
	地域医療特論	1・2		2		
	健康行動科学	1・2		2		
	社会生活行動支援	1・2		2		
	周産期医学	1・2		2		
	リハビリテーション医学	1・2		2		
	アクセシビリティ特論	1・2		2		
	健康スポーツ学特論	1・2		2		
	食環境・環境栄養学特論	1・2		2		
	国際保健・災害医療	1・2		2		
	医療情報システム論	1・2		2		
	認知神経心理学	1・2		2		
	看護援助学特論	1・2		2		
	緩和ケア科学特論	1・2		2		
	医療・介護事故とヒューマンエラー	1・2		2		

区 分	授 業 科 目	授業を行う 年 次	単 位 数			備 考
			講義	演習	実習	
臨床腫瘍医師養成特別コース選択必修科目	腫瘍薬物療法実習Ⅰ	1～4		3		「腫瘍薬物療法実習Ⅰ」,「腫瘍薬物療法実習Ⅱ」,「腫瘍薬物療法実習Ⅲ」及び「腫瘍薬物療法実習Ⅳ」のうちから9単位以上を含めて,12単位以上を修得すること。
	腫瘍薬物療法実習Ⅱ	1～4		3		
	腫瘍薬物療法実習Ⅲ	1～4		3		
	腫瘍薬物療法実習Ⅳ	1～4		3		
	腫瘍治療実習Ⅰ	1～4		3		
	腫瘍治療実習Ⅱ	1～4		3		
	腫瘍治療実習Ⅲ	1～4		3		
	腫瘍治療実習Ⅳ	1～4		3		
	放射線治療実習Ⅰ	1～4		3		
	放射線治療実習Ⅱ	1～4		3		
	放射線治療実習Ⅲ	1～4		3		
	放射線治療実習Ⅳ	1～4		3		
	緩和ケア実習Ⅰ	1～4		3		
	緩和ケア実習Ⅱ	1～4		3		
	緩和ケア実習Ⅲ	1～4		3		
	緩和ケア実習Ⅳ	1～4		3		
	腫瘍薬学実習Ⅰ	1～4		3		
	腫瘍薬学実習Ⅱ	1～4		3		
	腫瘍薬学実習Ⅲ	1～4		3		
	腫瘍薬学実習Ⅳ	1～4		3		

(1) 臨床医学研究法（必修2単位）

がん治療に関する臨床研究において、自立して研究を行うために必要な研究デザインや研究戦略（課題の抽出・設定、仮説・立証計略の立案、方策・方法の考案、手順・計画設計など）の理論を学び、自らが立案する素養を身につける。

(2) 臨床医学研究実習（必修12単位）

がん治療に関する臨床研究のテーマに沿って、研究を遂行するために必要な能力、方法等を研究の実践を通して学び、自立して研究を行う素養を身につける。

(3) 〔共通選択必修科目Ⅰ〕（選択必修4単位以上）

がん医療に携わる専門医師として必要な基礎的素養を涵養するための科目を,「生命科学・医療倫理」を含めて2科目以上を選択履修する。

(4) 〔共通選択必修科目Ⅱ〕（選択必修4単位以上）

がん医療に携わる専門医師として必要な専門的技術を修得するための科目を,「疫学・調査実験法」を含めて2科目以上を選択履修する。

(5) 〔共通選択必修科目Ⅲ〕（選択必修4単位以上）

がん医療に携わる専門医師として必要な専門分野の理解を深め,あるいは幅広い知識を修得するための科目を,「基礎腫瘍学」,「臨床腫瘍学」を含めて2科目以上を選択履修する。

(6) 〔臨床腫瘍医師養成特別コース選択必修科目〕（選択必修12単位以上）

がん薬物療法専門医受験資格取得に必要な臨床実習（日本臨床腫瘍学会のカリキュラムに則り,一定レベルの臨床経験と Evidence に基づいた診断・治療法の修得を行う）を,「腫瘍薬物療法実習Ⅰ」,「腫瘍薬物療法実習Ⅱ」,「腫瘍薬物療法実習Ⅲ」及び「腫瘍薬物療法実習Ⅳ」のうちから3科目以上を含めて,4科目以上を選択履修する。

I 平成21年度学生募集要項(修士課程医科学専攻)

I 入 試 日 程

区 分	1 次 募 集	2 次 募 集
出 願 期 間	平成20年 8 月 4 日 (月) 平成20年 8 月 8 日 (金)	平成21年 1 月 5 日 (月) 平成21年 1 月13日 (火)
試 験 日	平成20年 9 月 3 日 (水)	平成21年 2 月13日 (金)
合 格 発 表	平成20年 9 月22日 (月)	平成21年 3 月 6 日 (金)

※ 1 次募集で募集人員に満たない場合、2 次募集を実施します。

II 募 集 人 員

医科学専攻 15名(「社会人特別選抜」を含みます。)

(備考) 本研究科修士課程医科学専攻では、修学を希望する社会人に対して、社会人特別選抜と大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用した「夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法による」教育(40ページ参照)を実施しています。

なお、この場合の社会人とは、官公庁、教育機関、病院、企業等の現業に従事し、入学後もその身分を有する者をいいます。

III 履 修 コ ー ス

医学、生命科学、ヒューマンケアなど包括医療の諸分野において活躍する多彩な専門職者を育成するために、基礎生命科学系コース、医療科学系コース、総合ケア科学系コースの3つのコースが設定されています。入学後、指導教員の指導の下に、研究テーマ、希望する進路及び修学目的に適合した履修コースを選択します。

IV 出 願 資 格

1 一 般 選 抜

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成21年 3 月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第 4 項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成21年 3 月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成21年 3 月修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成21年 3 月修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位

- 置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成21年3月修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (9) 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると、本学大学院が認めた者で、22歳に達したもの

2 社会人特別選抜

上記1の出願資格のいずれかに該当する者で、平成21年4月1日現在で、社会人として3年以上の実務経験を有し、かつ入学後もその身分を有する者とします。

V 出願資格認定

出願資格(8)又は(9)により出願しようとする者については、事前に出願資格の審査を受け、出願資格を有することが認定された者のみ出願することができますので、関係書類を次により提出してください。

なお、1次募集における本研究科の審査で出願資格を認定された者は、2次募集に出願する場合、あらためて出願資格の認定を申請する必要はありません。

(注) 外国の学校の卒業者は資格審査を要する場合がありますので、事前に佐賀大学医学部学生サービス課入試担当（0952-34-3130）に問い合わせてください。

1 出願資格(8)により出願しようとする場合

(1) 提出書類（*の印を付しているものは本学所定の用紙を使用してください。）

提出書類等	摘 要
*入学資格個別審査願 (様式院6)	
出身学校成績証明書	出身学校の長が証明したもの
在学証明書（在学年次が 明記されているもの）	出身学校の長が証明したもの
*志願理由書 (様式院3)	

2 出願資格(9)により出願しようとする場合

短期大学、専修学校、各種学校等の卒業生で、研究論文等の研究業績があること。

(1) 提出書類（*の印を付しているものは本学所定の用紙を使用してください。）

提出書類等	摘要
* 入学資格個別審査願 (様式院 6)	
* 志願理由書 (様式院 3)	
* 業績報告書 (様式院 4)	
在職期間証明書	在職時の職名、勤務期間を証明することのできる書類 (様式自由)

3 提出期限

- 1 次募集 平成20年 7 月22日 (火) 17時必着
2 次募集 平成20年11月28日 (金) 17時必着

4 提出方法 次のいずれかの方法により提出してください。

- (1) 郵送の場合………「速達簡易書留」郵便で、封筒の表に「入学資格個別審査願書在中」と朱書きし、郵送してください。なお、配達に要する日時等を考慮して、早めに郵送してください。
- (2) 持参の場合………佐賀大学医学部学生サービス課入試担当へ持参してください。

5 提出先 佐賀大学医学部学生サービス課入試担当

〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島 5 丁目 1 番 1 号

6 認定の結果

- 1 次募集 平成20年 8 月 1 日 (金) までに、本人に通知します。
2 次募集 平成20年12月19日 (金)

VI 出願手続

1 指導教員との事前相談

修士課程では、授業による学修に加えて、希望する講座等研究室に所属して研究指導を受けることに重点が置かれています。

出願の手続きをする前に、研究指導を希望する教員と以下の方法で連絡を取り、あらかじめ入学後の教育・研究内容などについて相談を行い、志望する指導教員 (第 1 志望あるいは第 2 志望まで) を決めてください。

(1) 電話又は電子メールによる直接連絡

本冊子33～38ページ、指導教員表の電話番号またはメールアドレスに直接連絡してください。

(2) 学生募集相談窓口を介した連絡

上記の方法で直接連絡がつかない場合は、下記の学生募集相談窓口にその旨伝え、希望

指導教員からの連絡を待ってください。

なお、指導教員選定に関する相談にも応じますので、お問い合わせください。

学生募集相談窓口：佐賀大学医学部学生サービス課入試担当

〒849-8501 佐賀市鍋島五丁目1番1号

TEL 0952-34-3130

FAX 0952-34-2008

2 出願期間

1次募集 平成20年8月4日（月）～平成20年8月8日（金）17時必着

2次募集 平成21年1月5日（月）～平成21年1月13日（火）17時必着

※ 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。

土・日曜日、祝日は受付を行いません。

3 出願方法

出願書類は、次のいずれかの方法により提出してください。

(1) 郵送の場合 「速達書留」郵便とし本学所定の封筒で送付してください。

なお、配達に要する日時等を考慮して、早めに郵送してください。

(2) 持参の場合 佐賀大学アドミッションセンターへ持参してください。

4 出願書類等の提出先

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地

佐賀大学アドミッションセンター

5 出願書類等（*の印を付しているものは本学所定の用紙を使用してください。）

出 願 書 類 等	提 出 部 数	摘 要	一般選 抜を受 けよう とする 者	社会人 特別選 抜を受 けよう とする 者
入 学 検 定 料 30,000円		*検定料振込依頼書（様式院8-1）を使用し、銀行窓口において検定料を納付してください。（注）1	○	○
*検定料振込証明台紙 （様式院8-2）	1通	上記検定料を納付後、銀行窓口において受領する「C票 検定料払込証明書」を台紙に貼り付けてください。	○	○
*入 学 願 書 （様式院2-1）	1通	写真は、出願前3か月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向、縦3.5cm×横3cmのものを所定の欄に貼付してください。	○	○
*受験票・写真票 （様式院2-2、2-3）	1部		○	○
成 績 証 明 書	1通	出身大学（学部）又は短期大学等の長が作成し、厳封したもの	○	○
*志 願 理 由 書 （様式院3）	1部	卒論の概要あるいは実務の概要（在職中の者）を含めて志願の理由（1000字程度）	○	○
*返 信 用 封 筒 （受験票）	1通	本学所定の封筒に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入のうえ、350円切手（速達）を貼付してください。	○	○

卒業(修了)証明書等	1 通	卒業(修了)証明書又は見込証明書	○	○
学位授与証明書 (又は学位授与申請を受理した旨の証明書)	1 通	出願資格 1 の(2)に該当する者で大学評価・学位授与機構が証明したもの	○	○
外国人登録原票記載事項証明書	1 通	本邦に在留している外国人で入学を志望する者は、市区町村長が発行する「外国人登録原票記載事項証明書」を提出してください。	○	○
在職期間証明書	1 通	在職時の職名、勤務期間を証明することのできる書類(様式自由)		○
*業績報告書 (様式院 4)	1 部	研究発表、論文、著書等があれば、題名、掲載誌名、巻・号、発表年月などと共に業績内容を示すもの(論文等の別刷又はコピーを添付してください)		○
*出願承認書 (様式院 5)	1 通	官公庁、教育機関、病院、企業等に在職中の者は所属長の出願承認書を提出してください。		○
*住所届 (様式院 9)	1 通	必要事項を自筆で記入してください。	○	○

(注) 1 検定料が払い込まれていない場合又は、検定料が払い込まれていても払い込み済の「C票 検定料払込証明書」が検定料払込証明台紙に貼り付けられていない場合は出願を受理しません。

出願書類を受理した後は、払い込み済の検定料は返還いたしません。

次の場合は検定料の返還請求ができます。

① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合

② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

なお、返還請求の方法等については、アドミッションセンター(0952-28-8177)まで、お問い合わせください。

6 出願上の留意事項

- (1) 入学願書の記入漏れ等がないよう十分留意してください。
- (2) 一度受理した出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- (3) 出願期間後に到着したもの及び出願書類等に不備があるものは受理できません。
- (4) 出願書類等は一括して取りそろえ、出願者が直接出願してください。
- (5) 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学を取り消すことがあります。

Ⅶ 入学者選抜方法

1 選抜の方法

- (1) 一般選抜 筆記試験(英語)、小論文、面接及び口頭試問並びに成績証明書の審査等の結果を総合して判定します。
- (2) 社会人特別選抜 志願理由書、業績報告書、面接及び口頭試問並びに成績証明書の審査等の結果を総合して判定します。

2 試験の日時等

期 日	実 施 項 目	実 施 時 間	備 考
1 次募集 平成20年 9 月 3 日(水)	筆記試験（英語）	9：00～10：30	「辞書」の持込み可とし、「電子辞書」は不可とします。
2 次募集 平成21年 2 月13日(金)	小論文	11：00～12：30	分野別の複数の課題の中から選択
	面接及び口頭試問	13：30～	主として志望する分野について行います。

(注) 受験者は、各自が受験する科目の開始時刻20分前までに佐賀大学医学部（鍋島キャンパス）に集合してください。

VIII 合格者の発表及び通知

1 合格発表

日時 1 次募集 平成20年 9 月22日（月）14時

2 次募集 平成21年 3 月 6 日（金）14時

場所 佐賀大学（本庄キャンパス）「学生センター」前

2 合格通知

合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。

電話による可否の問い合わせには応じません。

IX 入 学 手 続

1 入学手続期間

1 次募集 平成20年10月21日（火）～平成20年10月24日（金）17時必着

2 次募集 平成21年 3 月24日（火）～平成21年 3 月27日（金）17時必着

※ 1 次募集・2 次募集ともに期間内に必着するように発送してください。

期間内に入学手続をしなかった者は、入学辞退者とします。

2 入学手続の内容

前記 1 の入学手続期間内において、次に掲げる関係書類の提出及び入学料等の納入を完了してください。

(1) 入学手続関係書類

○誓約書及び学生カードなど本学の指定する書類（合格者に対し、合格通知書と同時に郵送します）

○外国人登録原票記載事項証明書 1 通

出願時に外国人登録原票記載事項証明書を提出済の者は、提出を要しません。

ただし、出願時に旅券の写を提出した者は、入学手続完了後、在留資格の変更手続等を行い、外国人登録原票記載事項証明書を速やかに提出してください。

(2) 入学料・授業料

入学料：282,000円（入学時）

授業料：267,900円（前期・後期）〔年額535,800円〕（平成21年度の適用額）

※ 卒業（退職）証明書等 1 通

平成21年 3 月に大学等を卒業（修了）見込みで受験した者は，卒業（修了）後速やかに証明書を提出してください。

また，出願承認書で受験した者は，退学又は退職証明書もしくは修学承諾書（様式自由）を提出してください。

（留意事項）

- ① 入学料及び授業料額は，入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には改定時から新たな納付金額が適用されます。

なお，合格通知書送付の際，納入方法を含め，改めてお知らせします。

- ② 授業料の納付期間は，平成21年 4 月10日（金）から 4 月30日（木）です。

- ③ 納付した入学料は，いかなる理由があっても返還しません。

- ④ 入学手続完了者で，上記②の期間前に授業料を納付し，平成21年 3 月31日（火）までに入学を辞退した場合には，納付した者の申し出により，納付済の授業料相当額を返還します。

- ⑤ 入学料の免除及び徴収猶予並びに授業料の免除については，合格者に送付する関係書類を熟読の上，学生生活課に申し出てください。

※ 本冊子52ページ「共通事項」を参考にしてください。

X そ の 他

- 1 入学試験等に関する照会は，郵便により80円切手を貼付した返信用封筒を同封するか又は往復はがきで行ってください。

照会先

佐賀大学アドミッションセンター

〒840-8502 佐賀市本庄町 1 番地 電話 0952-28-8178

- 2 可否についての問い合わせには応じません。
3 受験者に対する宿泊の斡旋は行いません。

II 大学院(修士課程医科学専攻)案内

1 修士課程医科学専攻の目的

近年の医学・医療の進歩は目覚しく、20世紀半ばには夢物語でしかなかった臓器移植・臓器再生、遺伝子治療、ロボット治療、ゲノム創薬などが実現あるいは実現可能となってきました。さらに、21世紀の日本は本格的な少子高齢化社会に入り、医療・健康に関する人々の要求はますます高まることが予想され、患者や高齢者の介護と福祉、脳死、痴呆、移植臓器提供、生殖医療、クローン技術、難治感染症、医療経済など医学的のみならず倫理的・社会的に複雑多岐にわたる問題を提起しています。医学医療をさらに発展させると同時に、上述の諸課題の対処解決に当たるためには、医学的知識技術と共に医学以外のさまざまな分野における学際的な知識技術を有する高度専門職者・研究者・教育者を育成することが喫緊かつ必須なものとなっています。

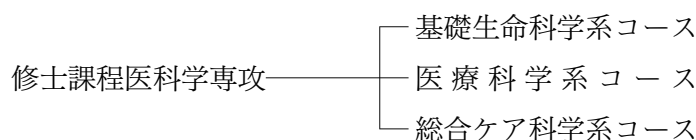
本修士課程医科学専攻は、医学部医学科以外の理系・文系4年制大学学部出身の多様なバックグラウンドを持つ学生を受け入れ、医学の基礎及びその応用法を体系的・集中的に修得させることにより、医学、生命科学、ヒューマンケアなど包括医療の諸分野において活躍する多彩な専門家の育成を目的とするものです。

2 学 位

修士課程医科学専攻で取得できる学位は修士（医科学）です。

3 教育・研究指導

修士課程医科学専攻では、医学部医学科以外の多様なバックグラウンドを持つ学生を受け入れ、医学の基礎及びその応用法を体系的・集中的に修得させることにより、医学、生命、科学、ヒューマンケアなど包括医療の諸分野において活躍する多彩な専門家を育成するため、「基礎生命科学系コース」、「医療科学系コース」、「総合ケア科学系コース」の3つのカリキュラムコースで教育課程が編成されています。



〔基礎生命科学系コース〕

生命科学・基礎医学等の領域で研究者・指導者として活躍する人材を育成することを目的とし、そのための幅広い専門的知識と研究に必要な技術や研究遂行能力を修得します。

〔医療科学系コース〕

医療関連の諸分野で活躍する専門職者や研究者を育成することを目的とし、そのための幅広い専門的知識と医療科学研究に必要な技術や研究遂行能力を修得します。

〔総合ケア科学系コース〕

ヒューマンケアなど包括医療のなかで活躍する専門職者や研究者を育成することを目的とし、そのための幅広い専門的知識と技術ならびに研究・実践遂行能力を修得します。

各コースでは、各自の目的に応じた個別の履修計画を策定し、専門的知識、研究手法や研究遂行能力、医学・生命科学研究者や医療関連専門職者として必要な倫理観やコミュニケーション能力などの基礎的な素養並びに各自の専門性を深めるための科目を選択履修します。なお、希望者は、博士課程医科学専攻及び修士課程看護学専攻で開講されている授業にも参加できます。

また、国内外の学会・研究会等に積極的に参加し、幅広い視野と成果を発信する能力を育てます。

研究指導では、新しい事柄の発見や問題解決を行うための能力と技術を身に付けるため、研究実習や医療現場での実習を重視し、指導教員による個別研究指導を基本方針としています。個別の研究指導は、学生ごとに1人の指導教員を置き、指導教員とその研究グループのスタッフが協力して指導する体制になっており、入学時に指導教員と学生とが相談のうえ個別の履修計画および研究計画を策定し、学生のニーズに即した研究指導を行っています。

4 指導教員及びその主たる研究分野

出願の手続きをする前に、入学後の教育・研究内容などについて、研究指導を希望する教員と相談を行うことになっておりますが、下表及び医学部ホームページの研究グループ紹介(<http://www.med.saga-u.ac.jp/resgroup-jp.2008/>)を参考に、志望する指導教員を決めてください。

電話番号は、ダイヤルイン化されていますので、0952-34-の後に番号を続ければ直通電話番号となります。

注) ☆印が付されている番号は、0952-28-の後に番号を続けてください。

指導教員	番号	メールアドレス	所 属	主 たる 研 究 分 野
副島 英伸	2260	soejimah@cc.saga-u.ac.jp	分子生命科学	○エピジェネティクス一般 ○がんのエピジェネティクス ○ゲノム刷り込み ○分子遺伝学 ○転写メカニズム ○クロマチン生化学
出原 賢治	2261	kizuhara@cc.saga-u.ac.jp	分子生命科学	○サイトカインの情報伝達機構 ○アレルギー性疾患の発症機序 ○慢性炎症の発症機序 ○遺伝性疾患の診断と解析
城 圭一郎	2262	joh@cc.saga-u.ac.jp	分子生命科学	○遺伝子発現の制御機構 ○エピジェネティクス ○ゲノム刷り込み (ゲノムインプリンティング)

指導教員	番号	メールアドレス	所 属	主 たる 研 究 分 野
吉田 裕樹	2290	yoshidah@cc.saga-u.ac.jp	分子生命科学	○ 遺伝子改変マウスの作成 ○ サイトカインとリンパ球分化 ○ アポトーシス制御機構 ○ 感染と防御免疫
高崎 洋三	2191	takasaky@cc.saga-u.ac.jp	分子生命科学	○ タンパク質の構造と機能の研究 ○ PCRを用いたタンパク質変異体の調製 ○ 制限酵素と DNA との相互作用 ○ 大腸菌における外来遺伝子の発現の調節
安藤 祥司	2192	andohs@cc.saga-u.ac.jp	分子生命科学	○ 中間径フィラメント蛋白質の構造とリン酸化による機能制御 ○ 中間径フィラメント結合蛋白質の構造と機能 ○ 多細胞生物由来抗菌ペプチドの構造と機能
池田 義孝	2190	yikeda@cc.saga-u.ac.jp	分子生命科学	○ 酵素化学・触媒機構 ○ 酵素の活性制御機構 ○ アスパラギン結合型糖鎖を中心とした糖鎖生物学
木本 雅夫	2255	kimoto@cc.saga-u.ac.jp	分子生命科学	○ 感染防御機構 ○ 免疫細胞機構 ○ 組織適合遺伝子
埴原 恒彦	2220	hanihara@cc.saga-u.ac.jp	生体構造機能学	○ 形質人類学（骨，歯牙形態学） ○ 数量分類学
増子 貞彦	2221	masuko@cc.saga-u.ac.jp	生体構造機能学	○ 神経解剖学 ○ 神経細胞生物学 ○ 組織・細胞の微細形態学
額原 嗣尚 [*]	2270	eharat@cc.saga-u.ac.jp	生体構造機能学	○ 心筋の膜電流解析 ○ 筋細胞膜のイオンチャネルの研究 ○ 心筋細胞のイオンポンプ機構 ○ 心筋の興奮収縮連関
熊本 栄一	2273	kumamote@cc.saga-u.ac.jp	生体構造機能学	○ 痛み情報伝達の制御機構 ○ 中枢神経系におけるシナプス伝達 ○ 神経伝達物質受容体 ○ 末梢神経における活動電位の伝導
徳永 藏	2230	tokunao@cc.saga-u.ac.jp	病因病態科学	○ 人体病理学 ○ 心・血管及び消化器病理学 ○ 細胞診断学 ○ バーチャルスライド遠隔病理診断
戸田 修二	2233	todas@cc.saga-u.ac.jp	病因病態科学	○ 内分泌病理学 ○ 腫瘍病理学 ○ 再生医学 ○ 気相・液相界面の生物学 ○ 脂肪細胞と肥満の細胞生物学 ○ Radiation bystander effect ○ 培養システム開発
宮本比呂志	2245	miyamoth@cc.saga-u.ac.jp	病因病態科学	○ 細菌学 ○ 院内感染 ○ レジオネラ感染症の宿主・寄生体関係
久木田明子	2246	kukita@cc.saga-u.ac.jp	病因病態科学	○ 免疫系サイトカインと骨代謝 ○ 破骨細胞の分化及び活性化の制御機構 ○ 骨代謝・免疫制御因子の分子細胞生物学 ○ 細胞増殖を調節する転写制御因子

指導教員	番号	メールアドレス	所 属	主 たる 研 究 分 野
田中恵太郎	2280	tanakake@cc.saga-u.ac.jp	社会医学	○環境発癌に関する疫学 ○発癌リスクの個体差に関する分子疫学 ○生活習慣病の予防医学 ○生物統計学的アプローチ
市場 正良	2283	ichiba@cc.saga-u.ac.jp	社会医学	○環境医学—化学物質の生体影響 ○環境医学—シックハウス ○産業医学
齊場三十四 [*]	2186	saibam@cc.saga-u.ac.jp	福祉健康科学部門	○障害者・高齢者の生活理解と生活支援 ○障害者・高齢者支援の福祉制度研究 ○障害者・高齢者心理の行動分析 ○医療福祉制度と援助技術 ○バリアフリー住環境の研究と設計 ○バリアフリー福祉生活用具の研究と設計 ○バリアフリーの町づくりの研究と設計 ○バリアフリーの交通機関の研究と設計
堀川 悦夫	2141	ethori@cc.saga-u.ac.jp	福祉健康科学部門	○脳機能に及ぼす加齢の影響 ○認知症、高次脳機能障害 ○高齢者の転倒・交通事故などモビリティの障害 ○糖尿病患者などの運動習慣形成とその評価法 ○介護負担とストレス対処行動
松尾 清美	2187	matsuoki@cc.saga-u.ac.jp	福祉健康科学部門	○生活行動支援学 ○リハビリテーション工学 ○人間工学 ○福祉機器の設計研究 ○生活環境の設計研究
酒見 隆信	2507	sakemit@cc.saga-u.ac.jp	地域包括医療教育部 門	○腎疾患の診断と治療 ○腎疾患の進展機序 ○医学教育
竹生 政資	2202	takefu@cc.saga-u.ac.jp	医療連携システム部 門	○生体情報計測システム ○カオス・フラクタルの手法による生体情報解析 ○生体情報の臨床精神医学的研究への応用
高崎 光浩	3338	takasaki@cc.saga-u.ac.jp	医 療 情 報 部	○地域医療連携と ICT (Information Communication Technology) ○データベース管理システムとデータマイニング ○教育システム (特に e-Learning) とその評価, ID (Instructional Design)
佐藤 英俊	2194	satohh2@cc.saga-u.ac.jp	地域包括緩和ケア科	○緩和ケア ○がん性疼痛 ○認知行動療法 ○東洋医学
長澤 浩平	2350	nagasak@cc.saga-u.ac.jp	内 科 学	○膠原病の成因, 診断と治療 ○感染免疫 ○実験関節炎の研究
野出 孝一	2354	node@cc.saga-u.ac.jp	内 科 学	○循環器病学 ○高血圧・高脂血症 ○血管医学 ○臨床薬理学

指導教員	番号	メールアドレス	所 属	主 たる 研 究 分 野
藤本 一真	2351	fujimotk@cc.saga-u.ac.jp	内 科 学	○食道・胃・大腸疾患の診断・治療 ○消化管機能と疾患の相関 ○消化器癌の発生機序
成澤 寛	2352	narisawa@cc.saga-u.ac.jp	内 科 学	○皮膚付属器の形態学 ○皮膚の感覚生理 ○毛組織の生物学
林 真一郎	2356	hayashs@cc.saga-u.ac.jp	内 科 学	○間質系肺病変の病態と診断・治療 ○気管支喘息におけるリモデリング機序に関する研究 ○肺癌の臨床管理
末岡栄三朗	2353	sueokae@cc.saga-u.ac.jp	内 科 学	○臨床腫瘍学 ○血液腫瘍学 ○造血幹細胞移植 ○腫瘍分子生物学
久富 昭孝	2443	hisatomi@cc.saga-u.ac.jp	内 科 学	○内分泌・代謝学 ○糖尿病学 ○インスリン作用障害の診断・治療・病態解析
岩切 龍一	2374	iwakiri@cc.saga-u.ac.jp	内 科 学	○消化器内視鏡診断・治療 ○食道疾患診断・治療 ○炎症性腸疾患診断・治療 ○食餌性脂質の大腸癌発生への関与メカニズム
尾崎 岩太	3215	ozaki@cc.saga-u.ac.jp	保健管理センター	○肝線維化の進展・肝癌の発生過程の分子生物学的解析 ○C型肝炎の病態に関する研究 ○生活習慣病における肝病態
宮崎 耕治	2325	miyazak2@cc.saga-u.ac.jp	一 般 ・ 消化器外科学	○肝・胆・膵領域癌の診断と治療 ○肝・胆道癌の発癌と進展機序 ○消化器癌の個別化治療
佛淵 孝夫	2326	hotoket@cc.saga-u.ac.jp	整 形 外 科 学	○関節外科学 ○人工関節 ○バイオメカニクス ○バイオマテリアル ○医療マネジメント
松島 俊夫	2330	matsuto@cc.saga-u.ac.jp	脳 神 経 外 科 学	○微小外科解剖 ○もやもや病の臨床と病因 ○神経血管圧迫症候群，特に高血圧症の原因として
魚住 二郎	2333	uozumi@cc.saga-u.ac.jp	泌 尿 器 外 科 学	○薬剤性腎障害 ○尿路・生殖器悪性腫瘍 ○尿路変更・尿路再建 ○泌尿器内視鏡手術
岡崎 幸生	2334	okazaki@cc.saga-u.ac.jp	胸 部 ・ 心臓血管外科学	○心拍動下冠動脈バイパス術の安全性向上に関する研究 ○僧帽弁動態の形態学的解析（心臓内視鏡） ○大動脈基部機能の形態学的解析 ○心筋虚血再灌流障害 ○人工心肺・補助循環

指導教員	番号	メールアドレス	所 属	主 たる 研 究 分 野
上村 哲司	3680	uemurat@cc.saga-u.ac.jp	形成外科	○形成外科学 ○微小血管外科学 ○頭蓋顔面外科学 ○糖尿病足病変等の足病外科学 ○創傷治療（治癒）学
山田 茂人	2300	yamadash@cc.saga-u.ac.jp	精神医学	○内因性精神病の病態研究 ○精神薬理学的研究 ○認知症に関する疫学的研究
濱崎 雄平	2310	hamasaki@cc.saga-u.ac.jp	小児科学	○アレルギー疾患の発症機序 ○アラキドン酸代謝と疾患 ○川崎病の病態 ○小児呼吸器病の診断と治療
岩坂 剛	2315	iwasaka@cc.saga-u.ac.jp	産科婦人科学	○子宮頸癌発癌機構 ○婦人科腫瘍学 ○細胞診断学 ○婦人科癌化学療法
沖波 聡	2380	okinami@cc.saga-u.ac.jp	眼 科 学	○ぶどう膜炎の診断と治療 ○緑内障の診断と治療 ○網膜・硝子体疾患の診断と治療
井之口 昭	2375	inoaki@cc.saga-u.ac.jp	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	○頭頸部腫瘍の診断と治療 ○味覚・嗅覚障害の診断と治療
工藤 祥	2305	kudo@cc.saga-u.ac.jp	放 射 線 医 学	○放射線診断学 ○画像ガイド下の疾患治療 ○放射線管理学
中島 幹夫	2324	mikio@cc.saga-u.ac.jp	麻 酔 ・ 蘇 生 学	○麻酔・蘇生学，集中治療医学，救急医学 ○虚血性心疾患の病態 ○ <i>Vibrio vulnificus</i> 感染症の病態と治療
後藤 昌昭	2329	gotohm@cc.saga-u.ac.jp	歯科口腔外科学	○顎顔面形態の3次元解析 ○人工歯根の基礎的，臨床的研究 ○顎顔面欠損の機能的，形態的回復
青木 洋介	3242	aokiy3@cc.saga-u.ac.jp	臨床検査医学	○感染症の病態，診断と治療 ○院内感染と分子疫学 ○臨床疫学
瀧 健治	3160	taki@cc.saga-u.ac.jp	救急医学	○重症患者の病態生理と治療 ○炭酸ガスの呼吸生理機構 ○炭酸脱水酵素の生体調節機序 ○急性疾患の診断・検査・治療
小泉 俊三	3239	koizums@cc.saga-u.ac.jp	総 合 診 療 部	○臨床疫学とプライマリケア臨床研究方法論 ○臨床倫理学とバイオエシックス（生命倫理学） ○医学教育学（臨床教育評価論と保健行動科学） ○医療の質改善と医療技術評価論
浅見 豊子	3630	asamit@cc.saga-u.ac.jp	リハビリテーション部	○リハビリテーション的アプローチの臨床研究 ○義肢装具分野における開発と応用 ○日常生活動作とQOLの評価・分析
藤戸 博	3161	fujito@cc.saga-u.ac.jp	薬 剤 部	○薬物体内動態学 ○医薬品の高感度測定法 ○臨床漢方治療学

指導教員	番号	メールアドレス	所 属	主 たる 研 究 分 野
奥村 徹	2417	xj2t-okmr@ asahi-net.or.jp	危機管理 医 学	○ NBC テロ対応 ○ 臨床中毒学 ○ 航空医療搬送 ○ 医療安全 ○ 感染制御学
北嶋 修司	2431	kitajims@cc. saga-u.ac.jp	総 合 分 析 実験センター	○ 実験動物学 ○ 発生工学
寺東 宏明	2413	terato@cc. saga-u.ac.jp	総 合 分 析 実験センター	○ DNA 損傷の生物効果 ○ DNA 修復機構 ○ 放射線生物影響 ○ 環境変異原の生物影響
佐藤 武	☆ 8180	satot@cc. saga-u.ac.jp	保健管理 センター	○ メタボリックシンドローム生活習慣病 およびメンタル・スクリーニング ○ 運動療法・食事療法・行動療法 ○ カウンセリング
青木 歳幸	☆ 8379	aoki@cc. saga-u.ac.jp	地域学歴史 文 化 研 究 セ ン タ ー	○ 近世医学史 ○ 医療科学史 ○ 医学教育史

注) ※印が付されている指導教員は平成21年3月定年退職予定

5 授 業 科 目

区 分	授 業 科 目	必修選択 の 区 分	授 業 を 行 う 年 次	単 位 数			備 考
				講義	演習	実習	
必修科目 共通	人体構造機能学概論	必修	1	2			7単位を修得すること。
	病因病態学概論	必修	1	2			
	社会・予防医学概論	必修	1	2			
	生命科学倫理概論	必修	1	1			
系必修科目	学系基礎生命科学コース	分子生命科学概論	必修	1	2		いずれか1つの系区分12単位を修得すること。 * 修士論文研究指導を通じて履修する。
	学系基礎生命科学コース	基礎生命科学研究法*	必修	1～2		2	
		基礎生命科学研究実習*	必修	1～2		8	
		臨床医学概論	必修	1	2		
	学系医療科学コース	医療科学研究法*	必修	1～2		2	
		医療科学研究実習*	必修	1～2		8	
		総合ケア科学概論	必修	1	2		
	学系総合ケアコース	総合ケア科学研究法*	必修	1～2		2	
		総合ケア科学研究実習*	必修	1～2		8	
専門選択科目	専 門 選 択 科 目	人体構造実習	選択	1・2		1	コースワークに沿って11単位以上を修得すること。
		病院実習	選択	1・2		1	
		医用統計学特論	選択	1・2	1		
		医用情報処理特論	選択	1・2	1		
		実験動物学特論	選択	1・2	1		
		実験・検査機器特論	選択	1・2	1		
		バイオテクノロジー特論	選択	1・2	1		
		解剖学特論	選択	1・2	1		
		生理学特論	選択	1・2	1		
		分子生化学特論	選択	1・2	1		
		微生物学・免疫学特論	選択	1・2	1		
		薬物作用学特論	選択	1・2	1		
		病理学特論	選択	1・2	1		
		法医学特論	選択	1・2	1		
		環境・衛生・疫学特論	選択	1・2	1		
		精神・心理学特論	選択	1・2	1		
		遺伝子医学特論	選択	1・2	1		
		周産期医学特論	選択	1・2	1		
		障害者・高齢者支援にみる差別と偏見	選択	1・2	1		
		高齢者・障害者の生活環境（道具と住宅）特論	選択	1・2	1		
		リハビリテーション医学特論	選択	1・2	1		
		健康スポーツ医学特論 ★	選択	1・2	1		
		緩和ケア特論 ★	選択	1・2	1		
		心理学的社会生活行動支援特論	選択	1・2	1		
		高齢者・障害者生活支援特論	選択	1・2	1		
		対人支援技術特論Ⅰ	選択	1・2	1		
		対人支援技術特論Ⅱ	選択	1・2	1		
		地域医療科学特論	選択	1・2	1		
		アカデミックリーディング	選択	1・2	1		

★公開授業

合計30単位以上を修得すること

6 履 修 方 法

修士課程医科学専攻においては、入学後に、研究指導教員の助言の下に、各自の希望する進路及び修学目的に適合した履修コースを決め、それに基づいて各自の学習目標や研究テーマ等に即した修士課程2年間の履修計画を立てます。

授業科目は、「共通必修科目」、「系必修科目」及び「専門選択科目」から構成されています。

[共通必修科目]：医科学の基本的教育を行い、基礎的素養を涵養することを目的とした4科目・7単位からなり、全てのコースで必修です。

[系必修科目]：希望するコースを学び研究を行う上で必要な科目で、3科目・12単位からなり、これに含まれている系別「研究法」及び「研究実習」では、研究を行うのに必要な研究デザイン等の理論と研究実践の技術などを学びます。

[専門選択科目]：コース及び各自の目的に沿って専門分野の理解を深め、あるいは幅広い知識を修得するための科目群で、11科目・11単位以上を選択履修します。

「必修科目」の4科目・7単位、「系必修科目」の3科目・12単位及び「専門選択科目」から11科目・11単位以上、合計30単位以上を履修し、各自の目的と専門性に応じた研究活動を遂行するのに必要な豊かな学識と優れた技術を修得します。

7 修 了 の 要 件

修士課程の修了要件は、大学院に2年以上在学し、上記の授業科目につき30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格するものとします。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとしています。

8 教育方法の特例

大学院設置基準第14条では、「教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されており、社会人等の修学についての配慮が明記されています。

本研究科修士課程医科学専攻では、本大学院での履修を希望する社会人等に対して、同条に定める「教育方法の特例」による教育を実施しています。

「教育方法の特例」を希望する者は、指導教員と相談のうえ、授業及び研究指導を夜間や特定の時間又は時期に受けることができます。

9 長期履修制度

この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（2年）を越えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度です。

(1) 対象者

職業を有する者並びにその他やむを得ない事情のある者を対象とします。

(2) 長期履修の期間

3 年または 4 年とします。

(3) 申請方法

「入学願書（様式院 2－1）」の該当欄に必要事項を記入してください。

なお，長期履修に関する申請は，出願時時のみの受付となりますので手続漏れのないようにしてください。

(4) 結果通知

合格通知書と併せて通知します。

I 入 試 日 程

区 分	1 次 募 集	2 次 募 集
出 願 期 間	平成20年8月4日(月)) 平成20年8月8日(金)	平成21年1月5日(月)) 平成21年1月13日(火)
試 験 日	平成20年9月3日(水)	平成21年2月13日(金)
合 格 発 表	平成20年9月22日(月)	平成21年3月6日(金)

II 募集人員

なお、この場合の社会人とは、官公庁、教育機関、病院、企業等の現業に従事し、入学後もその身分を有する者をいいます。

III 出願資格

1 一般选拔

- (1) 大学を卒業した者及び平成21年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成21年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成21年3月修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成21年3月修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成21年3月修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者

- (8) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (9) 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると、本学大学院が認めた者で、22歳に達したもの

2 社会人特別選抜

上記1の出願資格のいずれかに該当する者で、平成21年4月1日現在で、社会人として3年以上の実務経験を有し、かつ入学後もその身分を有する者とします。

IV 出願資格認定

出願資格(8)又は(9)により出願しようとする者については、事前に出願資格の審査を受け、出願資格を有することが認定された者のみ出願することができますので、関係書類を次により提出してください。

なお、1次募集における本研究科の審査で出願資格を認定された者は、2次募集に出願する場合、あらためて出願資格の認定を申請する必要はありません。

(注) 外国の学校の卒業者は資格審査を要する場合がありますので、事前に佐賀大学医学部学生サービス課入試担当（0952-34-3130）に問い合わせてください。

1 出願資格(8)により出願しようとする場合

- (1) 提出書類（*の印を付しているものは本学所定の用紙を使用してください。）

提出書類等	摘要
*入学資格個別審査願 (様式院6)	
出身学校成績証明書	出身学校の長が証明したもの
在学証明書(在学年次が 明記されているもの)	出身学校の長が証明したもの
*研究テーマ (様式院7)	現在、興味をもっている研究テーマ(1,000字以内)

2 出願資格(9)により出願しようとする場合（次の認定基準を満たしている場合に限ります。）

(1) 認定基準

短期大学、専修学校、各種学校等の卒業生で、次の各号の全てに該当する者

- ① 3年（実質）以上の実務経験があること。
- ② 研究論文等の研究業績があること。
- ③ 研究テーマを持ち、意欲的に学ぶ姿勢があること。

(2) 提出書類（*の印を付しているものは本学所定の用紙を使用してください。）

提出書類等	摘 要
*入学資格個別審査願 (様式院6)	
*研究テーマ (様式院7)	現在、興味をもっている研究テーマ（1,000字以内）
*業績報告書 (様式院4)	
在職期間証明書	在職時の職名、勤務期間を証明することのできる書類（様式自由）

3 提出期限

1次募集 平成20年7月22日（火）17時必着

2次募集 平成20年11月28日（金）17時必着

4 提出方法 次のいずれかの方法により提出してください。

(1) 郵送の場合……………「速達簡易書留」郵便で、封筒の表に「入学資格個別審査願書在中」と朱書きし、郵送してください。なお、配達に要する日時等を考慮して、早めに郵送してください。

(2) 持参の場合……………佐賀大学医学部学生サービス課入試担当へ持参してください。

5 提出先 佐賀大学医学部学生サービス課入試担当

〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島5丁目1番1号

6 認定の結果

1次募集 平成20年8月1日（金）
2次募集 平成20年12月19日（金）
までに、本人に通知します。

V 出 願 手 続

1 指導教員との事前相談

出願の手続きをする前に、研究指導を希望する教員と以下の方法で連絡を取り、あらかじめ入学後の教育・研究内容などについて相談を行い、志望する指導教員（第1志望あるいは第2志望まで）を決めてください。

(1) 電話又は電子メールによる直接連絡

本冊子49～50ページ、指導教員表の電話番号又はメールアドレスに直接連絡してください。

2 出 願 期 間

1次募集 平成20年8月4日（月）～平成20年8月8日（金）17時必着

2次募集 平成21年1月5日（月）～平成21年1月13日（火）17時必着

※ 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。

土・日曜日、祝日は受付を行いません。

*業績報告書 (様式院4)	1部	研究発表, 論文, 著書等があれば, 題名, 掲載誌名, 巻・号, 発表年月などと共に業績内容を示すもの(論文等の別刷又はコピーを添付してください)		○
*出願承認書 (様式院5)	1通	官公庁, 教育機関, 病院, 企業等に在職中の者は所属長の出願承認書を提出してください。		○
*住所届 (様式院9)	1通	必要事項を自筆で記入してください。	○	○

(注) 1 検定料が払い込まれていない場合又は, 検定料が払い込まれていても払い込み済の「C票 検定料払込証明書」が検定料払込証明台紙に貼り付けられていない場合は出願を受理しません。
出願書類を受理した後は, 払い込み済の検定料は返還いたしません。
次の場合は検定料の返還請求ができます。
① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
なお, 返還請求の方法等については, アドミッションセンター(0952-28-8177)まで, お問い合わせください。

6 出願上の留意事項

- (1) 入学願書の記入漏れ等がないように十分留意してください。
- (2) 一度受理した出願書類及び入学検定料は, いかなる理由があっても返還しません。
- (3) 出願期間後に到着したもの及び出願書類等に不備のあるものは受理できません。
- (4) 出願書類等は一括して取りそろえ, 出願者が直接出願してください。
- (5) 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は, 入学を取り消すことがあります。

VI 入学者選抜方法

1 選抜の方法

- (1) 一般選抜 英語, 小論文及び口述試験の結果を総合して判定します。
- (2) 社会人特別選抜 小論文, 口述試験及び志願理由書等の審査の結果を総合して判定します。

2 試験の日時等

期 日	実 施 項 目	実 施 時 間	備 考
1次募集 平成20年 9月3日(水)	筆記試験(英語)	9:30~10:30	「辞書」の持込み可とし, 「電子辞書」は不可とします。
2次募集 平成21年 2月13日(金)	小論文	11:00~12:00	
	口述試験	13:00~	主として志望する分野について行います。

(注) 受験者は, 各自が受験する科目の開始時刻20分前までに佐賀大学医学部(鍋島キャンパス)に集合してください。

VII 合格者の発表及び通知

1 合格発表

日時 1次募集 平成20年9月22日（月）14時

2次募集 平成21年3月6日（金）14時

場所 佐賀大学（本庄キャンパス）「学生センター」前

2 合格通知

合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。

電話による可否の問い合わせには応じません。

VIII 入学手続

1 入学手続期間

1次募集 平成20年10月21日（火）～平成20年10月24日（金）17時必着

2次募集 平成21年3月24日（火）～平成21年3月27日（金）17時必着

※ 1次募集・2次募集ともに期間内に必着するように発送してください。

期間内に入学手続をしなかった者は、入学辞退者とします。

2 入学手続の内容

前記1の入学手続期間内において、次に掲げる関係書類の提出及び入学料等の納入を完了してください。

(1) 入学手続関係書類

○誓約書及び学生カードなど本学の指定する書類（合格者に対し、合格通知書と同時に郵送します）

○外国人登録原票記載事項証明書 1通

出願時に外国人登録原票記載事項証明書を提出済の者は、提出を要しません。

ただし、出願時に旅券の写を提出した者は、入学手続完了後、在留資格の変更手続等を行い、外国人登録原票記載事項証明書を速やかに提出してください。

(2) 入学料・授業料

入学料：282,000円（入学手続時）

授業料：267,900円（前期・後期）〔年額535,800円〕（平成21年度の適用額）

※ 卒業（退職）証明書等 1通

平成21年3月に大学等を卒業（修了）見込みで受験した者は、卒業（修了）後速やかに証明書を提出してください。

また、出願承認書で受験した者は、退学又は退職証明書もしくは修学承諾書（様式自由）を提出してください。

(留意事項)

- ① 入学料及び授業料額は、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には改定時から新たな納付金額が適用されます。

なお、合格通知書送付の際、納入方法を含め、改めてお知らせします。

- ② 授業料の納付期間は、平成21年4月10日（金）から4月30日（木）です。
- ③ 納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 入学手続完了者で、上記②の期間前に授業料を納付し、平成21年3月31日（火）までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により、納付済の授業料相当額を返還します。
- ⑤ 入学料の免除及び徴収猶予並びに授業料の免除については、合格者に送付する関係書類を熟読の上、学生生活課に申し出てください。
- ※ 本冊子52ページ「共通事項」を参考にしてください。

IX そ の 他

- 1 入学試験等に関する照会は、郵便により80円切手を貼付した返信用封筒を同封するか又は往復はがきで行ってください。

照会先

佐賀大学アドミッションセンター

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 電話 0952-28-8178

- 2 可否についての問い合わせには応じません。
- 3 受験者に対する宿泊の斡旋は行いません。

II 大学院(修士課程看護学専攻)案内

1 修士課程看護学専攻の目的

高度の専門性を有する看護職者にふさわしい広い視野に立った豊かな学識と優れた技能を有し、国内及び国際的に看護学の教育、研究、実践の各分野で指導的役割を果たすことができるような人材を育成します。

2 学 位

修士課程看護学専攻で取得できる学位は修士（看護学）です。

3 教育・研究指導

希望する指導教員（教授及び准教授）の指導の下、看護学研究法演習及び看護学特別研究を通して修士論文を作成します。

なお、希望者は、博士課程医科学専攻及び修士課程医科学専攻で開講している授業にも参加できます。

4 指導教員及びその主たる研究分野

出願の手続きをする前に、入学後の教育・研究内容などについて、研究指導を希望する教員と相談を行うことになっておりますが、下表及び医学部ホームページの研究分野紹介 (<http://www.med.saga-u.ac.jp/viewcls.php?clsid=3>) を参考に、志望する指導教員を決めてください。

電話番号は、ダイヤルイン化されていますので、0952-34-の後に番号を続ければ直通電話番号となります。

指導教員	番号	メールアドレス	所 属	主たる研究分野
井上 範江	2532	inouen@cc.saga-u.ac.jp	看護基礎科学	○生活援助技術及びコミュニケーションの生理学的・心理学的影響 ○看護ケアの質に関係する要因（患者及び家族の心理と QOL, 看護師と患者・家族の人間関係, 看護倫理） ○ケア社会における看護の教育的機能
河野 史	2531	kawanoh@cc.saga-u.ac.jp	看護基礎科学	○基礎看護学一般 ○神経機能形態学 ○組織・細胞の微細形態学 ○神経回路の研究
大田 明英	2541	ohtaal@cc.saga-u.ac.jp	成人・老年看護学	○膠原病・リウマチ病学（とくに難病患者の QOL と健康管理） ○人類遺伝学（とくに遺伝性疾患患者の看護, 遺伝相談） ○高齢者の筋・関節疾患（患者の臨床像の特徴, QOL と健康管理）

指導教員	番号	メールアドレス	所 属	主たる研究分野
藤田 君支	2542	fujitak@cc.saga-u.ac.jp	成人・老年看護学	○老年看護学 ○人工関節患者の QOL ○糖尿病患者の自己効力とセルフケア ○認知症高齢者の看護ケア ○地域高齢者のアクティビティと QOL ○慢性病患者の病の体験
齋藤ひさ子	2550	saitohi@cc.saga-u.ac.jp	母子看護学	○女性のライフサイクルと identity に関する研究 ○女性の保健行動とヘルスプロモーション ○親子関係に関する研究 ○周産期の母子と家族のケア ○育児支援に関する研究
新地 浩一	2564	shinchik@cc.saga-u.ac.jp	地域・国際保健看護学	○国際緊急援助活動に関する研究 ○災害医療に関する研究 ○職場におけるメンタルヘルスに関する研究（精神保健） ○慢性疾患の疫学

5 授 業 科 目

区分	授 業 科 目	必修選択の区分	授業を行う年次	単 位 数			備 考
				講義	演習	実習	
必修科目	看護学研究法演習	必修	1・2	2			14単位を修得すること。
	看護学特別研究	必修	1～2	12			
選択必修科目	看護理論	選択必修	1・2	2			8 単位以上を修得すること。
	看護倫理	選択必修	1・2	2			
	看護研究概論	選択必修	1・2	2			
	看護学教育概論	選択必修	1・2	2			
	看護管理	選択必修	1・2	2			
専門選択科目	看護援助学特論	選択	1・2	1			8 単位以上を修得すること。 (修士課程医科学専攻の専門選択科目のうち2単位以内を含めることができる)
	看護機能形態学特論	選択	1・2	1			
	急性期看護学特論	選択	1・2	1			
	慢性期看護学特論	選択	1・2	1			
	母性看護学特論	選択	1・2	1			
	小児看護学特論	選択	1・2	1			
	母子看護展開論	選択	1・2	1			
	老年看護学特論	選択	1・2	1			
	地域看護学特論	選択	1・2	1			
	在宅看護学特論	選択	1・2	1			
	国際看護学特論	選択	1・2	1			
	精神看護学特論	選択	1・2	1			
	看護統計学演習	選択	1・2	1			
	看護教育方法論	選択	1・2	1			
	がん看護学特論	選択	1・2	1			
	実践課題実習	選択	1・2		2		

合計30単位以上を修得すること

※ 修士課程医科学専攻の専門選択科目は、本冊子39ページで確認してください。

6 履 修 方 法

修士課程看護学専攻においては、入学後に、研究指導教員の助言の下に、各自の希望する修学目的に適合した修士課程2年間の履修計画を立てます。

授業科目は、「必修科目」、「選択必修科目」及び「専門選択科目」から構成されています。

「必修科目」は、学位論文を作成する上で必要な演習、特別研究の指導に相当し14単位を修得します。「選択必修科目」は、看護学の共通基礎として理解を深めることを目的としており、5科目から8単位以上を修得します。「専門選択科目」は、各自の目的に沿って専門分野の理解を深め、あるいは幅広い知識を習得するための科目群で、修士課程医科学専攻の授業科目のうち2単位以内を含め8単位以上を修得します。合計30単位以上を履修し、高い専門性を有する看護職者にふさわしい広い視野、豊かな学識および優れた技能を身につけます。

7 修 了 の 要 件

修士課程看護学専攻の修了の要件は、大学院に2年以上在学し、上記の授業科目につき30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格するものとします。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとします。

8 教育方法の特例

大学院設置基準第14条では、「教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されており、社会人等の修学についての配慮が明記されています。

本研究科修士課程看護学専攻では、本大学院での履修を希望する社会人等に対して、同条に定める「教育方法の特例」による教育を実施しています。

「教育方法の特例」を希望する者は、指導教員と相談のうえ、授業及び研究指導を夜間や特定の時間又は時期に受けることができます。

9 長期履修制度

この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（2年）を越えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度です。

(1) 対象者

職業を有する者並びにその他やむを得ない事情のある者を対象とします。

(2) 長期履修の期間

3年または4年とします。

(3) 申請方法

「入学願書（様式院2-1）」の該当欄に必要事項を記入してください。

なお、長期履修に関する申請は、出願手続時のみの受付となりますので手続漏れのないようにしてください。

(4) 結果通知

合格通知書と併せて通知します。

共 通 事 項

1 入学に要する費用

入 学 料 282,000円（入学時）

授 業 料 （前期分）267,900円 （年額）535,800円（平成21年度の適用額）

※ 入学料及び授業料額は、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には改定時から新たな納付金額が適用されます。

※ 授業料の納付期間は、平成21年4月10日（金）から4月30日（木）です。

2 入学料及び授業料の免除等

(1) 入 学 料

合格者は、入学手続きの際に入学料を納付しなければなりません。次のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき全額又は半額を免除または、徴収猶予することがあります。

ア 経済的理由により納付することが困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

イ 入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合

ウ 入学前1年以内において、本人又は学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

エ その他、上記イ又はウに準ずる場合で、学長が相当と認める事由がある場合

(2) 授 業 料

次のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき全額又は半額を免除することがあります。

ア 経済的理由により納付することが困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

イ 入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合

ウ 入学前1年以内において、本人又は学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

エ その他、上記イ又はウに準ずる場合

3 奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金制度があり、本人の申請により貸与が認められた場合の貸与月額（平成20年度）は次のとおりです。

(1) 第一種奨学金〔無利子貸与〕

博士課程 122,000円 修士課程 88,000円

(2) 第二種奨学金（きぼう21プラン奨学金）〔有利子貸与〕

5万円、8万円、10万円、13万円、15万円（奨学生の希望により貸与額を選択）

4 保険制度について

(1) 学生教育研究災害傷害保険加入について

大学に学ぶ学生が、教育研究活動中（正課中、学校行事中、課外活動中及び学内施設内）

又は通学途中において、不慮の災害事故による傷害を受けることが少なくありません。そうした災害事故を受けた学生への補償救済のために「学生教育研究災害傷害保険」（略称「学研災」）の制度があります。

本学では、この保険の保険料を大学が負担し、加入手続きも大学が一括して行っています。

(2) 損害賠償責任保険及び感染予防費用を含む保険への加入のお願いについて

学生生活全般において、偶発的な事故により他人にケガをさせたり、他人の財物等を損壊したりして法律上支払わなければならない賠償金が発生した際に支払われる損害賠償責任保険と、針刺し事故などの際に感染予防の措置を行うための費用を含む保険への加入をお願いしています。

任意加入ではありますが、本学では学生生活上の災害補償制度として位置づけていますので、加入することが必要です。

(参考)

学研災付帯学生生活総合保険

Aタイプ（自宅生） 40,440円

Bタイプ（下宿生） 46,850円

【上記保険料は平成20年度加入者に対する金額】

（保険期間は4年間でケガ・病気とも対象、賠償責任1事故1億円、感染予防費用50万円補償の場合）

5 身体に障害を有する志願者のみなさんへ

身体に障害を有する志願者は、本学において受験上及び修学上の配慮を必要とすることがありますので、出願に当たっては次により可能な限り早めに相談してください。

① 相談の時期

1次募集 平成20年7月22日（火）
2次募集 平成20年11月28日（金）
まで

なお、期限後に本学を志望することとなった場合及び不慮の事故等により身体に障害を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

② 相談の方法

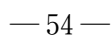
電話、郵便等にて、下記まで御連絡ください。詳細については、その際に御説明させていただきます。

相談及び連絡先

〒849-8501 佐賀市鍋島5-1-1 佐賀大学医学部学生サービス課入試担当
（電話）0952-34-3130

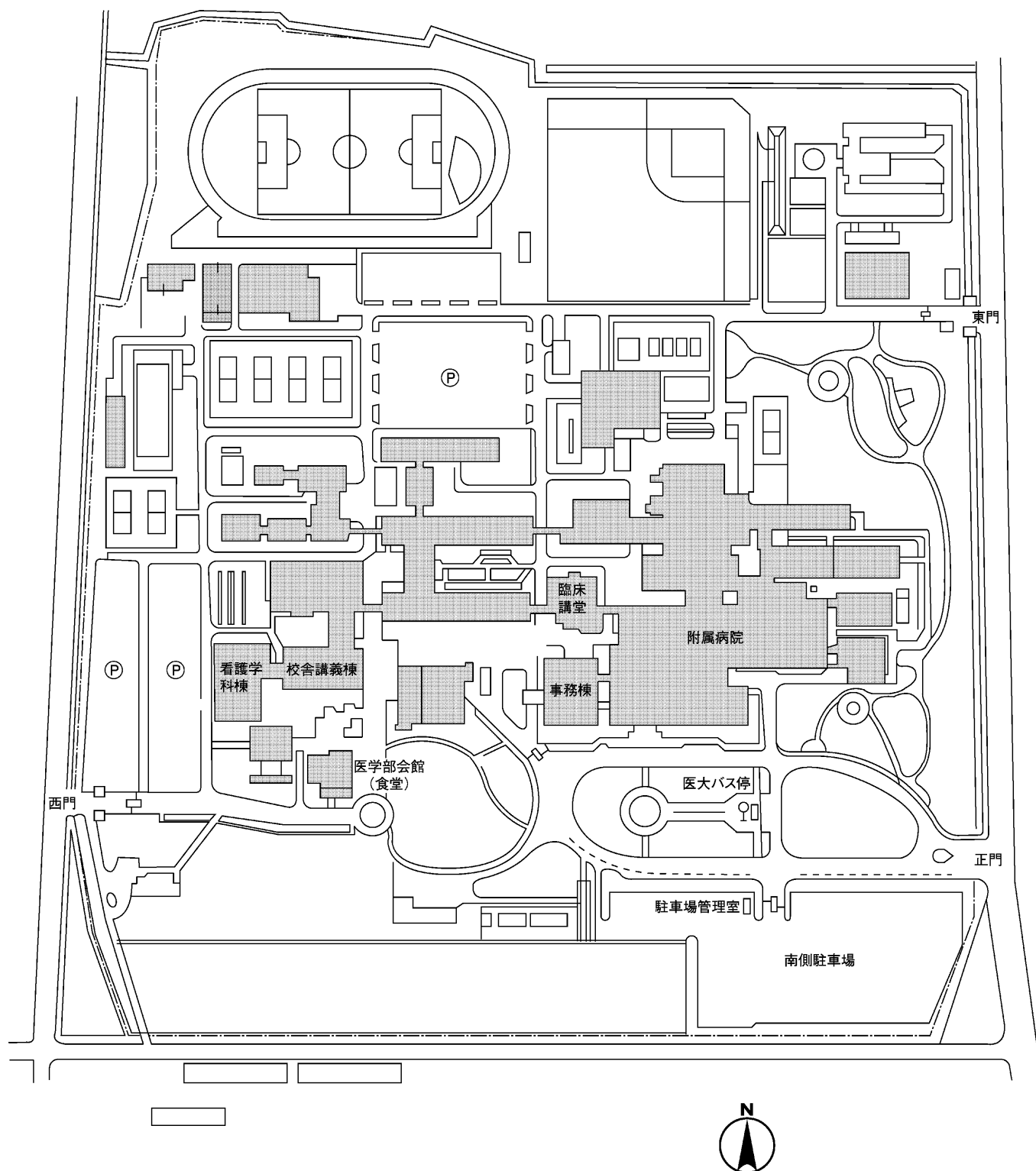
佐賀大学（本庄キャンパス）配置図

（文化教育学部，経済学部，理工学部，農学部）



佐賀大学（鍋島キャンパス）配置図

（医 学 部）



佐賀市内略図



佐賀大学（本庄キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター 4 番のりばから市営バス相応線・11番，東与賀線・12番，佐大行・63番で約15分，「佐大前」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約15分

佐賀大学（鍋島キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター 2 番のりばから市営バス医大線（神野公園，鍋島小学校経由・50番）で約25分，終点「医大」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約15分

※試験当日に自家用車で来た人は，正門から入って，南側駐車場に駐車してください。（佐賀大学（鍋島キャンパス）配置図参照）
また，帰りの際は，駐車場管理室に受験のため来た旨を申し出て，無料措置を受けてください。

Saga University, Faculty of Medicine
General Application Guide for International Students
(4-year Doctoral Program: 2009)

1: Schedule of Exams

[The first recruitment]

- Application period: From August 4 (M), 2008 to August 8 (F), 2008
- The date of exams: September 3 (W), 2008
- The date of the release of exam results: September 22 (M), 2008

[The second recruitment] (If results from the first entrance examination do not produce a full quota of eligible students, we may hold a secondary entrance examination.)

- Application period: From January 5 (M), 2009 to January 13 (T), 2009
- The date of exams: February 13 (F), 2009
- The date of the release of exam results: March 6 (F), 2009

2: Number of Intakes

30 students (After their enrolment, they each will be asked to choose one out of the following three programs: [1] Basic Medical Science [2] Clinical Medical Science [3] Medical Science for Synthetic Assistance)

3: Our educational purpose

Saga University Faculty of Medicine aims at educating and training physicians who, in their creative practices of medicine, will be capable of grasping problems they encounter from the bioethical and socio-cultural point of view, as well as from the science-based medical point of view. The physicians we will educate here shall meet the following desired requirements: (1) They will establish sound interpersonal relationships with their colleagues and co-workers, based on a rigorous sense of ethical conduct, well-rounded humanity, and healthy empathy toward others (2) They will form a good habit of independent study to acquire knowledge and skills in medicine (3) They will address a problem in an essential way backed by logical and scientific thinking (4) They will make effective use of their medical knowledge for the benefits of their respective communities.

4: Required Qualification

You need to be qualified as either one of the following students:

- (A) A student who has graduated (or, will graduate in March 2009) from a faculty of medicine (or dentistry or veterinary) in a Japanese university
- (B) A student who has finished (or, will finish in March 2009) the 18-year schooling in Japan by taking correspondence courses
- (C) A student who has finished (or, will finish in March 2009) the 18-year foreign schooling in Japan by taking a foreign school's correspondence courses
- (D) A student who has graduated from a master's program (either in Japan or in a foreign country), or who has spent more than two years in a (Japanese or foreign) five-year graduate program (which sets up no distinction between the two-year master's courses and the three-year doctoral courses) and obtained more than 30 credits under required academic guidance
- (E) A non-medicine (or dentistry or veterinary)-major student who has finished the 16-year schooling in a foreign country and, afterwards, has had more-than-two-years excellent working experiences in an academic institution
- (F) A student who has finished the 16-year schooling in medicine (or dentistry or veterinary) studies with excellent achievements
- (G) A student of 24 (or above) who passes our doctoral-level screening examination

● For a Group E, F, or G applicant: Please contact our Student Service Section (in Saga University Faculty of Medicine: TEL/ 0952-34-3130) either by July 22 (T), 2008 (the first recruitment) or November 28 (F), 2008 (the second recruitment).

● For a veterinary-major applicant: The school or faculty to which you belong (or belonged) has to have a six-year curriculum.

5: Application Procedure

(A) Advance consultations with an academic instructor:

First of all, you will be required to select one of our medical teachers as your academic instructor and start to contact him/her. You should discuss your future research plan with him/her, before beginning your entire admission process. For your initial contact, please use the attached list of every teacher's official email address/office phone number (see page 13-18). If you like to contact them by phone, please dial "0952-34" (or "0952-28" in case of calling a teacher whose phone number is starred on the list) first, and dial the mentioned number afterwards. You can see the same teacher list on our homepage: <http://www.med.saga-u.ac.jp/resgroup-jp.2008/>

(B) Application period:

[The first recruitment]

From August 4 (M), 2008 to August 8 (F), 2008 [from 9 AM to 5 PM]

[The second recruitment]

From January 5 (M), 2009 to January 13 (T), 2009 [from 9 AM to 5 PM]

(We are closed on Sundays, Saturdays, and holidays)

(C) Application methods:

You can mail your application documents to us, or hand-deliver them to us. If you want to take the former method, please have your documents registered and mail them by special delivery, using our prescribed envelope (Caution: Your documents have to reach us by either above-mentioned deadline). Our address is as follows:

Admission Center (Entrance-Exam Division), Saga University,
Honjo 1, Saga city, Japan (zip code: 840-8502) TEL: 0952-28-8178

If you want to take the latter method, please visit our Admission Center (Entrance-exam Division) with your documents. Note: Please don't send any substitute to us for this method.

(D) Required documents for application:

● Use our prescribed envelope for every underlined document.

1: Exam fee (¥30,000) → Please pay it at a bank, using an exam-fee transfer request form (Form # 8-1). Those who will finish OUR master's program (or, the first half of OUR doctoral program) in March 2009 do not need to pay this fee.

2: One mount for an exam-fee receipt (Form # 8-2) → After your payment is safely received, a bank will return a receipt (Form # 8-1-C) to you. Please don't forget to attach it to this prescribed mount.

3: One written application (Form # 1-1), one exam ID sheet (Form # 1-2), and one photo ID sheet (Form # 1-3) → Please paste your photo (3.5 cm by 3 cm) on each prescribed space. Your photos have to be less than three months old, as of the date of your application. Also, each of them has to feature clearly your front bust with no hat on.

4: One curriculum vita (Form # 1-4) → Please fill out all the required spaces.

5: One transcript → Please obtain it from your alma-mater university. It has to be officially sealed.

6: One statement-of-purpose sheet (Form # 3) → Please write your purpose of study (or, the outline of your research plan) in the prescribed space. If you have business experiences, you

can mention them in your writing.

7: One return envelop → On the prescribed envelop, please write your name/address/zip code, and stick a 350-yen stamp (for special delivery).

8: One graduation certificate → Please obtain it from your alma-mater university.

9: One application-approval sheet (Form # 5) → Please submit this sheet to us ONLY when you belong to either one of the following positions: (1) If you are a graduate student now and are not planning to graduate in 2009, please have it filled out by the head of your faculty (2) If you are working now (for instance, in a public office, an educational institution, a hospital, or a business corporation), please have it filled out by the chief of your division.

10: One certificate of foreign registration → If you are living in Japan now, please submit to us this certificate issued by the head of your local government.

11: One address-registration sheet (Form # 9) → Please fill out all the required spaces in your own hand.

● If you are continuing in office or have relative work experience in a public/academic institution or a private company, you need to submit the following two documents, additionally:

12: One tenure certificate → Please submit to us whatever officially proves your status in your present (or past) working place(s) and your working years.

13: One achievement-report sheet (Form # 4) → You can refer to your past treatises, publications, or research presentations in this form. Please write the titles and other necessary information about them (their dates of publication, for instance). Also, please attach a copy of each work.

● We will decide NOT to accept your application documents, if (1) your payment of the exam fee is not finished yet (2) the receipt of your exam-fee payment is not attached to the prescribed mount.

● Your exam fee CAN be returned to you, if (1) you decide not to submit your application documents to us after your payment is finished (2) we decide not to process your application documents after your payment is finished (3) your payment is processed twice

or more in error. When you want to know more about those three cases, please contact our Admission Center (Entrance-Exam Division: TEL/ 0952-28-8177). Except for those three special cases, you cannot request the return of your exam fee.

(E) Other important instructions for application:

- You cannot request the return of your application documents, as well as your exam fee, once your application documents are safely processed.
- If your application documents reach us after the deadline, they will not be considered.
- If the information in your application documents is found to be incorrect, your entrance is likely to be cancelled.

6: Outline of Exams

Whether or not your entrance is officially approved is based, primarily, on the following three points: (1) your English-exam result (2) your interview-exam result (3) your transcript.

The date of the exams is September 3 (W), 2008 [for the first recruitment] or February 13 (F), 2009 [for the second recruitment]. Please come to Faculty of Medicine, Saga University (Nabeshima campus) by 10:10 AM.

The first exam (English: a 90-minute written exam) will start from 10:30 AM (You can use your dictionary during this exam, but no electric dictionary should be used). The second exam (Interview: an oral exam on your research plan) will start from 1:30 PM.

If you are officially accepted, on September 22 (M), 2008, at 2 PM (for the first recruitment) or March 6 (F), 2009, at 2 PM (for the second recruitment), your exam ID number will be officially notified on a bulletin board in front of the Student Center (Saga University, Honjo campus). Afterwards, our official notification of your acceptance, as well as all the necessary documents for your admission, will be mailed to you. Note: No inquiry about exam results *by phone* is acceptable.

7: Admission Procedure

Your filled-out admission documents should be mailed. When mailing them, please have them registered and mailed to us, by special delivery, between October 21 (T), 2008, and October 24 (F), 2008, 5 PM (the first recruitment) or between March 24 (T), 2009, and March 27 (F), 2009, 5 PM (the second recruitment). In case that you cannot submit your admission documents to us in either of those prescribed periods, your admission will be

automatically cancelled.

The following is a list of all the necessary documents for your admission:

(A) Some prescribed documents such as a written oath or a student card (They will be mailed from us to you, along with our official notification of your acceptance)

(B) One graduation certificate, or, one retirement verification → If you are planning to graduate from your university or graduate school in March 2009, please submit to us your graduation certificate SHORTLY after your graduation. In case that you submitted an application-approval sheet in the application period, you should submit to us, this time, a withdrawal (or retirement) verification or an admission-acceptance form issued either by your alma mater or by the head of your present (or past) working place.

(C) One certificate of foreign registration → In case that you already submitted this certificate as a part of your application documents, you don't need to submit it this time. However, in case that you only submitted a copy of your passport in the application period, you will be required to clear all the necessary processes for an official change of your residential qualification, and submit this certificate to us right after the admission period.

(D) Admission fee (¥282,000) and tuition fee (¥267,900 [for the first 2009 semester only] or ¥535,800 [for the first and second 2009 semesters]) → Each sum is subject to change slightly. The payment methods will be notified in detail after you are officially accepted. In case that you cannot pay your tuition fee for the first semester during the admission period, please pay it between April 10 (F), 2009, and April 30 (Th), 2009. In case that you choose to decline your admission after your admission procedure is completed, please notify us of your declination by March 31 (T), 2009 — Then, only your tuition fee can be returned to you afterwards. However, your admission fee cannot be returned to you in any case. Last but not least, please never fail to check a document on our admission/tuition-fee-waiver system, which will be mailed to you with other admission documents.

If you want to ask us questions on the above-mentioned process, please feel free to contact our Admission Center (Entrance-Exam Division), Saga University (TEL: 0952-28-8178).

Saga University, Faculty of Medicine
General Application Guide for International Students
(2-year Master's Program in Medical Science: 2009)

1: Schedule of Exams

[The first recruitment]

- Application period: From August 4 (M), 2008 to August 8 (F), 2008
- The date of exams: September 3 (W), 2008
- The date of the release of exam results: September 22 (M), 2008

[The second recruitment] (If results from the first entrance examination do not produce a full quota of eligible students, we may hold a secondary entrance examination.)

- Application period: From January 5 (M), 2009 to January 13 (T), 2009
- The date of exams: February 13 (F), 2009
- The date of the release of exam results: March 6 (F), 2009

2: Number of Intakes

15 students (including a few specially-selected students — For further information and inquiries, please contact our Student Service Section, Saga University Faculty of Medicine: Tel: 0952-34-3130)

3: Our educational purpose

Targeting graduates with B. S. or B. A. degrees in a variety of academic fields, our Master's Program in Medical Science endeavors to train Paramedical specialists in medical sciences, life sciences and human care. Students will undergo a systematic and intensive study of basics of medical sciences and a selection of their practical applications. It is also expected that, once trained, they will play a substantial role in the professions of their choices.

4: Required Qualification

- For all “General Selection” applicants:
 - You need to be qualified as either one of the following students:
 - (A) A student who has graduated (or, will graduate in March 2009) from a Japanese university
 - (B) A student who has received (or, is expected to receive) a Bachelor's degree from a Japanese junior or technical college (stipulated in Article 68 [Clause 2 and 3] of Japan's

School Education Law)

(C) A student who has finished (or, will finish in March 2009) the 16-year schooling in a foreign country

(D) A student who has finished (or, will finish in March 2009) the 16-year schooling in Japan by taking a foreign school's correspondence courses

(E) A student who has completed the 16-year schooling in a foreign institution which is existing in Japan and accepted officially by Japan's School Education Law

(F) A student who is officially recognized as a qualified applicant by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology

(G) A student who has spent more than three years in a (Japanese or foreign) university and completed the 15-year schooling with excellent achievements

(H) A student of 22 (or above) who passes our master-level screening examination

— For a Group-G (or H) applicant: The eligibility for your application will have to be evaluated before your application documents are submitted to us. For further information on this matter, please contact our Student Service Section (in Saga University Faculty of Medicine: Tel 0952-34-3130).

● For all “Special Selection” (which is set exclusively for applicants with relevant work experience) applicants:

In order to apply to this category, you have to satisfy either of the above requirements, and, as of April 1, 2009, have three (or more)-year working experiences. Also, you have to ensure that, even after your admission, you will keep working in your present working place.

5: Application Procedure

(A) Advance consultations with an academic instructor:

You should discuss your future research plan with one (or two) of our medical teachers before beginning your entire admission process. We urge you to choose, for this advance-consultation period, at least TWO teachers (One of them will be your first choice, while the other will be your second one) — Eventually, either one of them will be, if your admission is officially accepted, your academic instructor. For your initial contact, please use the attached list of every teacher's official email address/office phone number (see page 30-35). If you like to contact them by phone, please dial “0952-34” (or “0952-28” in case of calling a teacher whose phone number is starred on the list) first, and dial the mentioned number afterwards. You can see the same teacher list on our homepage: <http://www.med.saga-u.ac.jp/resgroup-jp.2008/>

(B) Application period:

[The first recruitment]

From August 4 (M), 2008 to August 8 (F), 2008 [from 9 AM to 5 PM]

[The second recruitment]

From January 5 (M), 2009 to January 13 (T), 2009 [from 9 AM to 5 PM]

(We are closed on Sundays, Saturdays, and holidays)

(C) Application methods:

You can mail your application documents to us, or hand-deliver them to us. If you want to take the former method, please have your documents registered and mail them by special delivery, using our prescribed envelope (Caution: Your documents have to reach us by either above-mentioned deadline). Our address is as follows:

Admission Center (Entrance-Exam Division), Saga University,
Honjo 1, Saga city, Japan (zip code: 840-8502)

If you want to take the latter method, please visit our Admission Center (Entrance-exam Division) with your documents. Note: Please don't send any substitute to us for this method.

(D) Required documents for application:

- Use our prescribed envelope for every underlined document.

1: Exam fee (¥30,000) → Please pay it at a bank, using an exam-fee transfer request form (Form # 8-1). Those who will finish OUR master's program (or, the first half of OUR doctoral program) in March 2009 do not need to pay this fee.

2: One mount for an exam-fee receipt (Form # 8-2) → After your payment is safely received, a bank will return a receipt (Form # 8-1-C) to you. Please don't forget to attach it to this prescribed mount.

3: One written application (Form # 2-1), one exam ID sheet (Form # 2-2), and one photo ID sheet (Form # 2-3) → Please paste your photo (3.5 cm by 3 cm) on each prescribed space. Your photos have to be less than three months old, as of the date of your application. Also, each of them has to feature clearly your front bust with no hat on.

4: One transcript → Please obtain it from your alma-mater university. It has to be officially sealed.

5: One statement-of-purpose sheet (Form # 3) → Please write the summary of your Bachelor thesis in the prescribed space. If you have relevant work experience, you should mention it

in your writing (in about 500 words).

6: One return envelop → On the prescribed envelop, please write your name/address/zip code, and stick a 350-yen stamp (for special delivery).

7: One graduation certificate → Please obtain it from your alma-mater university.

8: One certificate of Bachelor's degree → If you belong to Group B mentioned in the "Required Qualification," please have this certificate authorized and submit it to us.

9: One certificate of foreign registration → If you are living in Japan now, please submit to us this certificate issued by the head of your local government.

10: One tenure certificate → If you are continuing in office or have working experience in a public/academic institution or a private company, please submit to us whatever officially proves your status in your present (or past) working place(s) and your working years.

11: One achievement-report sheet (Form # 4) → If you are continuing in office or have working experience in a public/academic institution or a private company, you can refer to your past treatises, publications, or research presentations in this form. Please write the titles and other necessary information about them (their dates of publication, for instance). Also, please attach a copy of each work.

12: One application-approval sheet (Form # 5) → Only when you are working now (for instance, in a public office, an educational institution, a hospital, or a business corporation), please have it filled out by the chief of your division and submit it to us.

13: One address-registration sheet (Form # 9) → Please fill out all the required spaces in your own hand.

● We will decide NOT to accept your application documents, if (1) your payment of the exam fee is not finished yet (2) the receipt of your exam-fee payment is not attached to the prescribed mount.

● Your exam fee CAN be returned to you, if (1) you decide not to submit your application documents to us after your payment is finished (2) we decide not to process your application documents after your payment is finished (3) your payment is processed twice or more in error. When you want to know more about those three cases, please contact

our Admission Center (Entrance-Exam Division: TEL/ 0952-28-8177). Except for those three special cases, you cannot request the return of your exam fee.

(E) Other important instructions for application:

- You cannot request the return of your application documents, as well as your exam fee, once your application documents are safely processed.
- If your application documents reach us after the deadline, they will not be considered.
- If the information in your application documents is found to be incorrect, your entrance is likely to be cancelled.

6: Outline of Exams

If you apply to “General Selection,” whether or not your entrance is officially approved is based, primarily, on the following four points: (1) your English-exam result (2) your essay-exam result (3) your interview-exam result. On the other hand, if you apply to “Special Selection,” it is based on (1) your statement-of-purpose sheet (2) your achievement-report sheet (3) your interview-exam result (4) your transcript.

The date of the exams is September 3 (W), 2008 [for the first recruitment] or February 13 (F), 2009 [for the second recruitment]. Please come to Faculty of Medicine, Saga University (Nabeshima campus) by 8:40 AM.

The first exam (English: a 90-minute written exam) will start from 9:00 AM (You can use your dictionary during this exam, but no electric dictionary should be used). The second exam (a 90-minute essay exam on your academic field) will start from 11:00 AM. The third exam (Interview: an oral exam on your research plan) will start from 1:30 PM.

If you are officially accepted, on September 22 (M), 2008, at 2 PM (for the first recruitment) or March 6 (F), 2009, at 2 PM (for the second recruitment), your exam ID number will be officially notified on a bulletin board in front of the Student Center (Saga University, Honjo campus). Afterwards, our official notification of your acceptance, as well as all the necessary documents for your admission, will be mailed to you. Note: No inquiry about exam results *by phone* is acceptable.

7: Admission Procedure

Your filled-out admission documents should be mailed. When mailing them, please have them registered and mailed to us, by special delivery, between October 21 (T), 2008, and October 24 (F), 2008, 5 PM (the first recruitment) or between March 24 (T), 2009, and March 27 (F), 2009, 5 PM (the second recruitment). In case that you cannot submit your

admission documents to us in either of those prescribed periods, your admission will be automatically cancelled.

The following is a list of all the necessary documents for your admission:

(A) Some prescribed documents such as a written oath or a student card (They will be mailed from us to you, along with our official notification of your acceptance)

(B) One graduation certificate, or, one retirement verification → If you are planning to graduate from your university or graduate school in March 2009, please submit to us your graduation certificate SHORTLY after your graduation. In case that you are an applicant with working experiences, you should submit to us an admission-acceptance form issued by the head of your present working place.

(C) One certificate of foreign registration → In case that you already submitted this certificate as a part of your application documents, you don't need to submit it this time. However, in case that you only submitted a copy of your passport in the application period, you will be required to clear all the necessary processes for an official change of your residential qualification, and submit this certificate to us right after the admission period.

(D) Admission fee (¥282,000) and tuition fee (¥267,900 [for the first 2009 semester only] or ¥535,800 [for the first and second 2009 semesters]) → Each sum is subject to change slightly. The payment methods will be notified in detail after you are officially accepted. In case that you cannot pay your tuition fee for the first semester during the admission period, please pay it between April 10 (F), 2009, and April 30 (Th), 2009. In case that you choose to decline your admission after your admission procedure is completed, please notify us of your declination by March 31 (T), 2009 — Then, only your tuition fee can be returned to you afterwards. However, your admission fee cannot be returned to you in any case. Last but not least, please never fail to check a document on our admission/tuition-fee-waiver system, which will be mailed to you with other admission documents.

If you want to ask us questions on the above-mentioned process, please feel free to contact our Admission Center (Entrance-Exam Division), Saga University (TEL: 0952-28-8178).

Saga University, Faculty of Medicine
General Application Guide for International Students
(2-year Master's Program in Nursing Science: 2009)

1: Schedule of Exams

[The first recruitment]

- Application period: From August 4 (M), 2008 to August 8 (F), 2008
- The date of exams: September 3 (W), 2008
- The date of the release of exam results: September 22 (M), 2008

[The second recruitment] (If results from the first entrance examination do not produce a full quota of eligible students, we may hold a secondary entrance examination.)

- Application period: From January 5 (M), 2009 to January 13 (T), 2009
- The date of exams: February 13 (F), 2009

The date of the release of exam results: March 6 (F), 2009

2: Number of Intakes

16 students (including a few specially-selected students: For further information and inquires, please contact our Student Service Section, Saga University Faculty of Medicine: Tel: 0952-34-3130)

3: Our educational purpose

Our Master's program in Nursing Science endeavors to train specialists with keen awareness of humanity in the field of nursing. Each student in the program will be ready to take a position of responsibility as a national/international leader in education, research and practice of nursing.

4: Required Qualification

- For all "General Selection" applicants:
 - You need to be qualified as either one of the following students:
 - (A) A student who has graduated (or, will graduate in March 2009) from a Japanese university
 - (B) A student who has received (or, is expected to receive) a Bachelor's degree from a Japanese junior or technical college (stipulated in Article 68 [Clause 2 and 3] of Japan's School Education Law)

(C) A student who has finished (or, will finish in March 2009) the 16-year schooling in a foreign country

(D) A student who has finished (or, will finish in March 2009) the 16-year schooling in Japan by taking a foreign school's correspondence courses

(E) A student who has completed the 16-year schooling in a foreign institution which is existing in Japan and accepted officially by Japan's School Education Law

(F) A student who is officially recognized as a qualified applicant by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology

(G) A student who has spent more than three years in a (Japanese or foreign) university and completed the 15-year schooling with excellent achievements

(H) A student of 22 (or above) who passes our master-level screening examination

— For a Group-G (or H) applicant: The eligibility for your application will have to be evaluated before your application documents are submitted to us. For further information on this matter, please contact our Student Service Section (in Saga University Faculty of Medicine: Tel 0952-34-3130).

● For all “Special Selection” (which is set exclusively for applicants with relevant work experience) applicants:

In order to apply to this category, you have to satisfy either of the above requirements, and, as of April 1, 2009, have three (or more)-year working experiences. You will be also required to maintain your working status even after your entrance to our university.

5: Application Procedure

(A) Advance consultations with an academic instructor:

You should discuss your future research plan with one (or two) of our nursing teachers before beginning your entire admission process. We urge you to choose, for this advance-consultation period, at least TWO teachers (One of them will be your first choice, while the other will be your second one) — Eventually, either one of them will be, if your admission is officially accepted, your academic instructor. For your initial contact, please use the attached list of every teacher's official email address/office phone number (see page 46~47). If you like to contact them by phone, please dial “0952-34” (or “0952-28” in case of calling a teacher whose phone number is starred on the list) first, and dial the mentioned number afterwards. You can see the same teacher list on our homepage: <http://www.med.saga-u.ac.jp/viewcls.php?clsid=3>

(B) Application period:

[The first recruitment]

From August 4 (M), 2008 to August 8 (F), 2008 [from 9 AM to 5 PM]

[The second recruitment]

From January 5 (M), 2009 to January 13 (T), 2009 [from 9 AM to 5 PM]

(We are closed on Sundays, Saturdays, and holidays)

(C) Application methods:

You can mail your application documents to us, or hand-deliver them to us. If you want to take the former method, please have your documents registered and mail them by special delivery, using our prescribed envelope (Caution: Your documents have to reach us by either above-mentioned deadline). Our address is as follows:

Admission Center (Entrance-Exam Division), Saga University,
Honjo 1, Saga city, Japan (zip code: 840-8502)

If you want to take the latter method, please visit our Admission Center (Entrance-exam Division) with your documents. Note: Please don't send any substitute to us for this method.

(D) Required documents for application:

● Use our prescribed envelope for every underlined document.

1: Exam fee (¥30,000) → Please pay it at a bank, using an exam-fee transfer request form (Form # 8-1). Those who will finish OUR master's program (or, the first half of OUR doctoral program) in March 2009 do not need to pay this fee.

2: One mount for an exam-fee receipt (Form # 8-2) → After your payment is safely received, a bank will return a receipt (Form # 8-1-C) to you. Please don't forget to attach it to this prescribed mount.

3: One written application (Form # 2-1), one exam ID sheet (Form # 2-2), and one photo ID sheet (Form # 2-3) → Please paste your photo (3.5 cm by 3 cm) on each prescribed space. Your photos have to be less than three months old, as of the date of your application. Also, each of them has to feature clearly your front bust with no hat on.

4: One transcript → Please obtain it from your alma-mater university. It has to be officially sealed.

5: One return envelop → On the prescribed envelop, please write your name/address/zip code, and stick a 350-yen stamp (for special delivery).

6: One graduation certificate → Please obtain it from your alma-mater university.

7: One certificate of Bachelor's degree → If you belong to Group B mentioned in the "Required Qualification," please have this certificate authorized and submit it to us.

8: One certificate of foreign registration → If you are living in Japan now, please submit to us this certificate issued by the head of your local government.

9: One tenure certificate → If you are continuing in office or have working experience in a public/academic institution or a private company, please submit to us whatever officially proves your status in your present (or past) working place(s) and your working years.

10: Reasons for your application (in 200 words) and a summary of your working experiences (in 200 words: This document is necessary even for "Special Selection" applicants) → Form # 3

11: If you apply to "Special Selection," please write the following document: A list of your past treatises, publications, or research presentations (If you have any, please write the titles and other necessary information about them [their dates of publication, for instance]...In addition, please attach a copy of each work) → Form # 4

12: One application-approval sheet (Form # 5) → If you are working now (for instance, in a public office, an educational institution, a hospital, or a business corporation), please have it filled out by the chief of your division and submit it to us.

13: One address-registration sheet (Form # 9) → Please fill out all the required spaces in your own hand.

● We will decide NOT to accept your application documents, if (1) your payment of the exam fee is not finished yet (2) the receipt of your exam-fee payment is not attached to the prescribed mount.

● Your exam fee CAN be returned to you, if (1) you decide not to submit your application documents to us after your payment is finished (2) we decide not to process your application documents after your payment is finished (3) your payment is processed twice or more in error. When you want to know more about those three cases, please contact our Admission Center (Entrance-Exam Division: TEL/ 0952-28-8177). Except for those three special cases, you cannot request the return of your exam fee.

(E) Other important instructions for application:

- You cannot request the return of your application documents, as well as your exam fee, once your application documents are safely processed.
- If your application documents reach us after the deadline, they will not be considered.
- If the information in your application documents is found to be incorrect, your entrance is likely to be cancelled.

6: Outline of Exams

If you apply to “General Selection,” whether or not your entrance is officially approved is based, primarily, on the following points: (1) your English-exam result (2) your essay-exam result (3) your interview-exam result. On the other hand, if you apply to “Special Selection,” it is based on (1) your English-exam result (2) your essay-exam result (3) your interview-exam result (4) your statement-of-purpose documents.

The date of the exams is September 3 (W), 2008 [for the first recruitment] or February 13 (F), 2009 [for the second recruitment]. Please come to Faculty of Medicine, Saga University (Nabeshima campus) by 9:10 AM.

The first exam (English: a 60-minute written exam) will start from 9:30 AM (If you are an applicant with working experiences, you can use your dictionary during this exam; but, if you are not, you will not be allowed to use it. Also, no electric dictionary should be used). The second exam (a 60-minute essay exam) will start from 11:00 AM. The third exam (Interview: an oral exam on your research area) will start from 1:00 PM.

If you are officially accepted, on September 22 (M), 2008, at 2 PM (for the first recruitment) or March 6 (F), 2009, at 2 PM (for the second recruitment), your exam ID number will be officially notified on a bulletin board in front of the Student Center (Saga University, Honjo campus). Afterwards, our official notification of your acceptance, as well as all the necessary documents for your admission, will be mailed to you. Note: No inquiry about exam results *by phone* is acceptable.

7: Admission Procedure

Your filled-out admission documents should be mailed. When mailing them, please have them registered and mailed to us, by special delivery, between October 21 (T), 2008, and October 24 (F), 2008, 5 PM (the first recruitment) or between March 24 (T), 2009, and March 27 (F), 2009, 5 PM (the second recruitment). In case that you cannot submit your admission documents to us in either of those prescribed periods, your admission will be

automatically cancelled.

The following is a list of all the necessary documents for your admission:

(A) Some prescribed documents such as a written oath or a student card (They will be mailed from us to you, along with our official notification of your acceptance)

(B) One graduation certificate, or, one retirement verification → If you are planning to graduate from your university or graduate school in March 2009, please submit to us your graduation certificate SHORTLY after your graduation. In case that you are an applicant with working experiences, you should submit to us an admission-acceptance form issued by the head of your present working place.

(C) One certificate of foreign registration → In case that you already submitted this certificate as a part of your application documents, you don't need to submit it this time. However, in case that you only submitted a copy of your passport in the application period, you will be required to clear all the necessary processes for an official change of your residential qualification, and submit this certificate to us right after the admission period.

(D) Admission fee (¥282,000) and tuition fee (¥267,900 [for the first 2009 semester only] or ¥535,800 [for the first and second 2009 semesters]) → Each sum is subject to change slightly. The payment methods will be notified in detail after you are officially accepted. In case that you cannot pay your tuition fee for the first semester during the admission period, please pay it between April 10 (F), 2009, and April 30 (Th), 2009. In case that you choose to decline your admission after your admission procedure is completed, please notify us of your declination by March 31 (T), 2009 — Then, only your tuition fee can be returned to you afterwards. However, your admission fee cannot be returned to you in any case. Last but not least, please never fail to check a document on our admission/tuition-fee-waiver system, which will be mailed to you with other admission documents.

If you want to ask us questions on the above-mentioned process, please feel free to contact our Admission Center (Entrance-Exam Division), Saga University (TEL: 0952-28-8178).

